

(別添資料 12)

臨地実務実習要綱 (案)

(静岡県立農林環境専門職大学短期大学部)

<目次>

- I (全員) 教育課程と実習
- II (全員) 臨地実務実習の概要と目標
- III (実習担当教員) 臨地実務実習の考え方
- IV (臨地実務実習の指導者) 臨地実務実習施設への依頼事項
- V (全員) 臨地実務実習の評価
- VI (学生) 臨地実務実習の受講

I (全員) 教育課程と実習

1. 教育目標

本学では、農林業分野の専門職業人として、農林業を取り巻く様々な事象を体系的に捉え、それらの変化に柔軟に対応でき、また、より広い視野で農林業を捉え、将来地域社会を中心となって支えていく人材を養成するため、次の教育目標を掲げている。

- 1) 確かな生産知識と技術を持ち、生産現場のスペシャリストとして即戦力となる人材
- 2) 生産現場のリーダーに必要な豊かな人間性と、現場の課題に対応できる先進的な生産知識や技術と、その応用力を持った人材

2. 教育課程の構造

本学の教育課程は、上記の教育目標を達成するため、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目の4つの基礎的な枠組みを構成し、農林業分野の専門職業人として豊かな人間性を育み、農林業全般にわたり必要とされる理論的かつ実践的な能力や、農林業の新たな展開につながる应用能力・創造的役割を果たすために必要な能力を修得することを基本としている。

- (1) 社会人に求められる知識やコミュニケーション能力及び多面的に物事を考える素養を身に付けるため、基礎科目として、実用的な知識やコミュニケーションスキルを学ぶ科目や、グループワークにより意見交換を行う科目などを配置する。
- (2)-1 農林業生産に関する専門的な知識・技術を身に付けるため、職業専門科目として、農林業基礎、生産理論及び生産技術に関する科目を配置し、生産理論及び生産技術については、「栽培」、「林業」、「畜産」のコース別に講義、実習・演習及び臨地実務実習を行う。
さらに、「栽培」及び「畜産」コースにおいては、生産する作物や動物の種類に応じた科目を配置する。
- (2)-2 農林業生産に活用される先端技術に関する知識・技術を身に付けるため、職業専門科目において、先端技術について学ぶ授業を幅広く実施する。
- (2)-3 農山村の自然環境や景観の保全に関する知識を身に付けるため、職業専門科目において、自然環境に配慮した農林業生産や森林景観の保全手法などについて学ぶ授業を幅広く実施する。
- (3)-1 農林産物の加工・流通・販売や農林業経営に関する知識を身に付けるとともに、生産物の付加価値向上の手法を学ぶため、展開科目として、「栽培」、「林業」、「畜産」のコース別に、加工・販売の手法、流通の仕組み、経営などに関する講義・実習等の課目を配置する。
- (3)-2 農山村の伝統・文化の継承に関する知識を身に付けるとともに、地域資源

としての活用手法を学ぶため、展開科目として、農山村の歴史や文化、地域社会などに関する科目を配置する。

(4) 農林業生産現場における課題の解決に向けて情報を収集・分析・整理する能力や、その結果を表現する能力を身に付けるため、総合科目として、経営課題の研究などに関する科目を配置する。

II (全員) 臨地実務実習の概要と目標

本学で実施する臨地実務実習の概要は次の通りである。

1. 臨地実務実習の概要

本学の臨地実務実習は、「農林業生産現場の生産性向上等を図るための、農林業生産に関する専門的な知識・技術」を身につける。

臨地実務実習は、2年次に「企業実習」(10単位)を開講する。臨地実務実習の教育効果を高めるため、「企業実習」の履修前には、「総合実習」、「圃場実習Ⅰ・演習林実習Ⅰ」、「圃場実習Ⅱ・演習林実習Ⅱ」を配置し、農林業全般にわたる生産知識や生産技術の基礎について学ぶ実習を実施する。

2. 臨地実務実習の目標

臨地実務実習指導者の指導を受けながら農林業現場を体験し、各臨地実務実習の目標を達成することで、実践的な生産技術を養う。

3. 「企業実習」の内容(2年次 春・夏・秋期 必修10単位)

(1) 目的

先進的な農林業経営体の生産現場での実習を通じて、学内で学んだ知識・技能をもとに実践的な生産技術を学ぶ。

(2) 目標

- ①生産現場での基本的な作業工程について理解することが出来る。
- ②各作業工程に必要な基本的な技術を身につける。

(3) 方法

2年次に配置し、学生が希望する農林業経営体において、約2カ月間実施する。学生数は1施設1名を予定している。

企業実習の受講に当たっては、「圃場実習Ⅰ・Ⅱ」、「演習林実習Ⅰ・Ⅱ」で、基本的な生産技術を学んでいることを前提とする。実習実施前には、実習受入れ先の農林業経営体の基本的な経営情報について調査を行う。

実習中は、臨地実務実習指導者のもと、実際の生産現場を体験する。日々の作業は、臨地実務実習指導者の指示に従って行い、毎日、作業内容について記録を行う。

実習指導は、臨地実務実習指導者と本学教員が連携し、適宜連絡を取り合い、学生の実習状況について 情報を共有し、助言・指導を行う。

実習終了後は、報告書の作成、報告会の実施により、生産現場で必要となる技術について理解を深める。

4. 評価方法

全日程の 80%以上の出席で単位認定の資格を得るものとする。また、評価項目を下表に示す。

<評価項目>

項目	区分	評価事項
職業人としての適性	志向・態度	規則や心得を守ることが出来る。
	志向・態度	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。
	志向・態度	従業員と協調して仕事出来る。
	志向・態度	実習学生として必要な基礎知識を有している。
	志向・態度	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。
生産管理	知識・理解 技能	生産に関する基礎知識・技能(※経営種目別)

<生産管理 栽培>

項目	評価事項	
	No	内容
農業一般	志向・態度	1-1 農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。
	志向・態度	1-2 作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。
	知識・理解	1-3 作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)
	知識・理解	1-4 植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)
	知識・理解	1-5 栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。
	知識・理解	1-6 被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明できる。
	知識・理解	1-7 栽培施設の種類の構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。
	知識・理解	1-8 栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。
	知識・理解	1-9 測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。
	知識・理解	1-10 環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。
	知識・理解	1-11 養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。
土づくり	知識・理解	2-1 土性の種類と特徴を理解し、説明できる。
	技能	2-2 土壌を観察し、土性を判断できる。
	知識・理解	2-3 土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。
	知識・理解	2-4 栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。
	知識・理解	2-5 栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。
	知識・理解	2-6 肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。
	知識・理解	2-7 土壌診断の必要性を理解し、説明できる。
	技能	2-8 土壌診断や、草勢、着果具合など生育にあわせて、施肥・追肥の計画を立てられる。

3	病害虫・雑草管理・生理障害	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。
		技能	3-2	病害や虫害が発生した場合、その原因を判断できる。
		技能	3-3	適切な防除時期を判断できる。
		知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。
		技能	3-5	病害虫に対して適切な防除資材を判断できる。
		知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。
		知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。
		知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。
		技能	3-9	生育異常が発見でき、その原因を判断できる。
		技能	3-10	生育異常に対する対応策を判断できる。
		知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。
		技能	3-12	農薬のラベルを見て、適性作物、使用量・使用濃度の確認が出来る。
		知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。
		技能	3-14	事故防止のための手段を行っている。
4	栽培管理（草本植物（野菜・花等））	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。
		知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明できる。
		技能	4-3	栽培品目や作付体系にあわせて、適切に播種ができる。
		知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。
		技能	4-5	栽培品目にあわせて、適切に接ぎ木が出来る。
		知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明できる。
		知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解し、説明できる。
		技能	4-8	育苗中に、気象変化に応じて、温度管理・水管理ができる。
		技能	4-9	栽培品目にあわせて、育苗をし、必要な苗数を確保できる。
		技能	4-10	栽培品目にあわせて、適切に定植できる
		知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。
		技能	4-12	栽培品目にあわせて、かん水が適切にできる。
		知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。
		技能	4-14	栽培品目にあわせて、うね立てが出来る。
		知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。
		技能	4-16	栽培品目にあわせて、整枝、誘引ができる。
		知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。
		技能	4-18	生育状況に合わせて、摘葉、摘花、摘果すべき箇所を理解し、実施できる。
		知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。
		技能	4-20	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。
5	栽培管理（永年植物（茶・果樹等））	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。
		知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。（葉芽、花芽、開花、結実等）
		知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。
		技能	5-4	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの方法で、苗木の増殖ができる。
		知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明できる。
		知識・理解	5-6	（果樹）果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明できる。
		技能	5-7	（果樹）果樹の栽培品目毎に、適切な誘引ができる。
		知識・理解	5-8	（果樹）受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明できる。
		技能	5-9	（果樹）栽培品目毎に、適切に受粉、摘蕾、摘花、摘果ができる。
		知識・理解	5-10	（果樹）袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明できる。
		技能	5-11	（果樹）栽培品目ごとに、袋かけの適切な時期を判断し、実行できる。
		知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。
		技能	5-13	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。
6	出荷	知識・理解	6-1	等級間の価格の違いを理解し、説明できる。
		知識・理解	6-2	出荷調整作業の内容を理解し、説明できる。
		技能	6-3	栽培品目毎に、適切に出荷調整ができる。
		技能	6-4	出荷調整時に、品質低下を防ぐことができる。

<生産管理 林業>

項目		評価事項	
		No	内容
1 林業の基礎	知識・理解	1-1	森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、説明できる。
	知識・理解	1-2	森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。
	知識・理解	1-3	森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。
	技能	1-4	森林の種類について理解し、分類できる。
	知識・理解	1-5	森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。
2 森林調査	知識・理解	2-1	森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。
	知識・理解	2-2	森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。
	技能	2-3	森林調査を実施できる。
3 服装と道具	知識・理解	3-1	森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。
	知識・理解	3-2	小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。
	技能	3-3	小型の林業機械を安全に使用できる。
	技能	3-4	作業にあった服装や道具を選択できる。
4 造林技術	知識・理解	4-1	人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。
	知識・理解	4-2	人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。
	知識・理解	4-3	人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。
	知識・理解	4-4	人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。
	知識・理解	4-5	人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。
	技能	4-6	人工林の造林技術を実施できる。
	知識・理解	4-7	天然林における施業方法について理解し、説明できる。
	知識・理解	4-8	山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。
5 森林保護管理	知識・理解	5-1	森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。
	知識・理解	5-2	森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。
	知識・理解	5-3	森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。
	知識・理解	5-4	森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。
	知識・理解	5-5	森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。
	技能	5-6	森林被害に対し、対策を実施できる。
6 収穫技術	知識・理解	6-1	立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術について理解し、説明できる。
	知識・理解	6-2	集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理解し、説明できる。
	知識・理解	6-3	森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。

<生産管理 畜産>

項目		評価事項	
		No	内容
礎1 畜産基	知識・理解	1-1	家畜の生活環について理解し、説明できる。
	知識・理解	1-2	経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。
	知識・理解	1-3	飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。
	知識・理解	1-4	飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。
2 家畜と飼料の基礎知識(牛)	知識・理解	2-1	牛の品種と特徴について理解し、説明できる。
	知識・理解	2-2	牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。
	知識・理解	2-3	牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。
	知識・理解	2-4	牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。
	知識・理解	2-5	飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。
	知識・理解	2-6	適切な飼料給与について理解し、説明できる。
	知識・理解	2-7	疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。
	知識・理解	2-8	生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。
	知識・理解	2-9	繁殖生理について理解し、説明できる。
	知識・理解	2-10	発情生理と人工授精について理解し、説明できる。
	知識・理解	2-11	子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。
	知識・理解	2-12	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。
3 管理作業(牛)	知識・理解	3-1	1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。
	技能	3-2	(施設)通路の点検が出来る。
	技能	3-3	(施設)飼料の管理、掃き寄せが出来る。
	技能	3-4	(施設)飼槽の管理が出来る。
	技能	3-5	(施設)水槽の管理が出来る。
	技能	3-6	(施設)牛の快適な環境を理解し、牛舎の換気が出来る。
	技能	3-7	(施設)牛床の管理が出来る
	技能	3-8	(施設)外部寄生虫の防除方法を理解し、実践できる。
	技能	3-9	(施設)牛舎内の牛の観察をして、異常を発見できる。
	技能	3-10	(健康の点検)食欲の有無を観察し、異常が発見できる。
	技能	3-11	(健康の点検)目の観察をし、異常を発見できる。
	技能	3-12	(健康の点検)鼻の観察をし、異常が発見できる。
	技能	3-13	(健康の点検)挙動を観察し、その疾病や課題が発見できる。
	技能	3-14	(健康の点検)尾根部や尾の状態を観察し、異常が発見できる。
	技能	3-15	(健康の点検)呼吸の状態を観察し、異常が発見できる。
	技能	3-16	(健康の点検)発咳を発見し、原因がわかる。
	技能	3-17	(健康の点検)牛の適正な体温を理解し、異常時は発見できる。
	技能	3-18	(健康の点検)被毛の状態を観察し、異常を発見できる。
	技能	3-19	(繁殖)発情の周期を理解し、観察・発見できる。
	技能	3-20	(乳牛)搾乳の手順を理解し、実践できる。
4 家畜と飼料の基礎知識(豚)	知識・理解	4-1	豚の品種と特徴を理解し、説明できる。
	知識・理解	4-2	豚の繁殖方法について理解し、説明できる。
	知識・理解	4-3	子豚の飼育方法について理解し、説明できる。
	知識・理解	4-4	肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。
	知識・理解	4-5	飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。
	知識・理解	4-6	消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。
	知識・理解	4-7	豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。
	知識・理解	4-8	豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。
	知識・理解	4-9	暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。
	知識・理解	4-10	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。
	知識・理解	4-11	ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる。

(豚) 5 管理作業	技能	5-1	子豚哺乳・育成時の適温について理解し、適切な暖房使用ができる。
	技能	5-2	豚の習性を理解し、正しい接し方ができる。
	技能	5-3	適切に飼槽、飲水の管理ができる。
	技能	5-4	子豚の去勢方法について理解し、適切に実施できる。
	技能	5-5	繁殖豚の発情メカニズム、交配、分娩について理解し、実践できる。
	技能	5-6	飼料の保存や取扱いについて理解し、実践できる。
	技能	5-7	暑熱時の適切な管理方法について理解し、実践できる。
6 家畜の飼料の基礎知識 (鶏)	知識・理解	6-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。
	知識・理解	6-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。
	知識・理解	6-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。
	知識・理解	6-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。
	知識・理解	6-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。
	知識・理解	6-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。
	知識・理解	6-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。
	知識・理解	6-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。
	知識・理解	6-9	(採卵鶏)産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。
	知識・理解	6-10	(採卵鶏)採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。
	知識・理解	6-11	(採卵鶏)鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。
	知識・理解	6-12	(肉用鶏)肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。
	知識・理解	6-13	(肉用鶏)入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。
	知識・理解	6-14	(肉用鶏)肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。
(鶏) 7 管理作業	技能	7-1	育すう期の適切な温度・湿度を理解し、適切な温度・湿度・換気管理ができる。
	技能	7-2	生育期に合わせて、適切な給餌器・給水器管理ができる。
	技能	7-3	デビークを行う理由を理解し、適切に実施できる。
	技能	7-4	適切な体重を理解し、適切な時期に体重測定が実施できる。
	技能	7-5	飼料の適切な管理方法について理解し、実施できる。
	技能	7-6	鶏舎の適切な管理温度を理解し、換気や防寒対策ができる。
8 衛生管理	知識・理解	8-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。
	知識・理解	8-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。
	技能	8-3	消毒器・消毒層・消毒帯の管理方法を理解し、実践できる。
	技能	8-4	消毒薬の使用上の注意を理解し、適切に使用できる。
	技能	8-5	衛生管理区域内への鳥類、小動物の侵入の必要性を理解し、実施できる。

Ⅲ (実習担当教員) 臨地実務実習の考え方

臨地実務実習は、学生が先進的な農林業経営体において学ぶことで、経営体の持つ優れた技術や経営管理等を習得させるために行う。

農林業現場では危険な作業を行うことがある。事故の発生を防ぐためには、安全を心がけて適切に作業を進めることが最も重要である。

臨地実務実習における考え方は次の通りである。

1. 臨地実務実習の目的

学生が、先進的な農林業経営体において、経営体の持つ優れた技術や経営管理について実地に学び、農林業経営に必要な知識・技能を身につける。

2. 臨地実務実習の方法

実践的かつ効果的な実習を行うため、農林業経営体における長期間の実習を実施する。臨地実務実習指導者に対し、学生が実習を通じて体験できる事項について安全性を確保できるよう環境の整備を行うように依頼する。合わせて学内においては、臨地実務実習に臨むための技能やリスク、基本的態度について事前準備として整える。

3. 実習先の選定

学生の希望に基づき、臨地実務実習先は選定し、大学、農林事務所、農林業経営体等で調整し、決定する。選定の手順は次の通りである。

- 1) 臨地実務実習担当者は、学生の実習希望先の調査のため、「臨地実務実習希望調書」(様式第1号)を提出させる。
- 2) 臨地実務実習担当者は、臨地実務実習希望調書に基づきヒヤリングを実施し、「臨地実務実習学生カード」(様式第2号)を作成する。
- 3) 臨地実務実習担当者は、学生の希望を考慮して実習受入先一覧の中から受入れ農林業経営体候補を選定する。選定後、「臨地実務実習学生希望一覧表」(様式第3号)を作成し、各農林事務所、受け入れ候補の農林業経営体等と調整し、実習先を決定する。
- 4) 大学は実習受入候補の農林業経営体へ「臨地実務実習依頼書」(様式第4号)及び「臨地実務実習学生カード」を送付して、臨地実務実習の受入れを依頼する。
- 5) 実習受入候補の農林業経営体は、依頼について適当を認めた場合は、承諾書(様式第5号)を提出する。
- 6) 実習先の決定後、大学は「臨地実務実習一覧表」(様式第6号)を作成し、該当する農林事務所に送付する。

(実習受入先選定手順)

手順	時期・項目	作成書類	(作成者)
1	(1学年・1月) 学生の希望調査	臨地実務実習希望調書 (様式第1号)	(学生)
2	(1学年・1月) ヒヤリングの実施	臨地実務実習学生カード (様式第2号) 臨地実務実習学生希望一覧表 (様式第3号)	(教員) (教員)
3	(1学年・1月) 選定・調整		
4	(1学年・2月) 臨地実務実習依頼	臨地実務実習依頼書 (様式第4号)	(大学)
5	(1学年・2月) 実習受入の承諾	承諾書 (様式第5号)	(農林業経営体)
6	(1学年・3月) 実習先決定	臨地実務実習先一覧表 (様式第6号)	(大学)

4. 臨地実務実習中の学生が当事者となる事故の予防と発生時の対応

臨地実務実習が安全に実施できるよう、学内において安全教育を行う。事故が発生した場合に備え、連絡体制や対応方法などの管理体制を整える。また、事故の発生によって、学生が怪我を負う場合や、実習先に損害を与える場合に備えて、大学が一括で傷害保険及び賠償責任保険に加入する。

5. 臨地実務実習前の準備

臨地実務実習の履修開始前には、各実習の目的に照らし合わせ、学内で必要な技能の学修を行うとともに、臨地実務実習指導要領に基づき、学生としての姿勢・態度・身だしなみ、事故等への対応、その他報告・連絡・相談の徹底について指導を行う。

生産現場では、農作業に伴う事故や怪我、破傷風やダニが媒介する感染症、鉢刺され被害など様々なリスクがある。このため、これらのリスクに対する対策（農作業安全、感染症対策など）について指導し、実習中の危害防止に努める。

6. 臨地実務実習中の指導

臨地実務実習中、臨地実務実習指導者と専任教員が連携し、随時連絡を取り合い、学生の臨地実務実習に臨む姿勢や課題の進捗状況、学生の抱える悩み等について情報を共有し、指導・援助を行う。

大学教員の巡回指導は、2週間に1回程度の頻度で行う。実習中は、電話やメール等で連絡を行う。

7. 臨地実務実習後の指導

大学は、臨地実務実習後は報告会を実施する。報告会においては、教員を配置して、適時、助言・指導、改善に向けた課題提示等を実施し、農林業への学修を深めるようにする。また、大学教員は、必要に応じて個別の学修指導を行う。

8. 臨地実務実習の取り扱い

学生ならびに臨地実務実習指導者は、臨地実務実習の内容を遵守するものとする。遵守できない場合は、臨地実務実習を中止することがある。

Ⅳ （臨地実務実習の指導者）臨地実務実習施設への依頼事項

1 臨地実務研修の目的

臨地実務実習は、学生が先進的な農林業経営体において優れた生産技術や経営管理等を実践的に学修させるために行うものである。臨地実務実習の受入先となる農林業経営体は、大学からの依頼を受けて、臨地実務実習の目的が達成できるよう協力を行う。

2 学生への指導事項

- (1) 臨地実務実習指導者は、学生を日常業務に従事させることで、実践的な生産技術や経営管理等について学修できるように指導する。
- (2) 臨地実務実習指導者は、学生に対し日常業務や休憩、休日について指導を行う。
- (3) 臨地実務実習指導者は、学生を業務に関する会合等へは、可能な限り参加させる。
- (4) 臨地実務実習指導者は、学生が日常業務に最低限必要とされる以外、自動車や自動二輪車等の運転をさせることがないようにする。
- (5) 臨地実務実習指導者は、学生に自動車、自動二輪の持ち込みは、許可のない限り、使用させない。
- (6) 学生が実習前後や実習中に、実習先の農林業経営体の経営について質問するため、臨地実務実習指導者は、回答への協力を行う。

3 大学への報告・連絡・相談

- (1) 臨地実務実習先と大学は、実習決定後の9月に実習内容について確認を行う。
- (2) 臨地実務実習先の経営者もしくは指導者は、臨地実務実習の受入式及び終了式が原則として農林事務所で行われるため出席する。
- (3) 臨地実務実習指導者は、大学の訪問指導や電話等で学生の実習状況確認について協力する。
- (4) 臨地実務実習指導者は、実習期間中の訪問指導以外において、実習指導上、大学との報告・連絡・相談が必要な場合は、随時、連絡するよう依頼し、対応について大学の教員との双方が情報共有し、十分な話し合いを行うようにする。また、状況に応じて大学教員が臨地実務実習先を訪問する。
- (5) 臨地実務実習指導者は、事故等が発生した際は、速やかに大学担当者まで御連絡をする。
- (6) 臨地実務実習指導者は、台風や地震等の災害発生、その他諸事情による緊急事態が発生した場合には、速やか大学まで連絡する。
- (7) 臨地実務実習指導者は、実習期間中の出欠表を記入する。
- (8) 臨地実務実習指導者は、実習終了時の成績評価は、実習終了後1週間以内に、郵送にて返信する。
- (9) 臨地実務実習先の経営者及び指導者等は、名目の如何を問わず、学生に現金や現金に類するもの（商品券、電子マネー等）を与えない。

5 連絡体制

連絡先、連絡体制を下記のとおり定める。

<連絡先>

(平日 午前8時30分～午後6時まで)

① 生産科学科 臨地実務実習担当

TEL 0538-30-0000

② 静岡県立農林環境専門職大学 (代表番号)

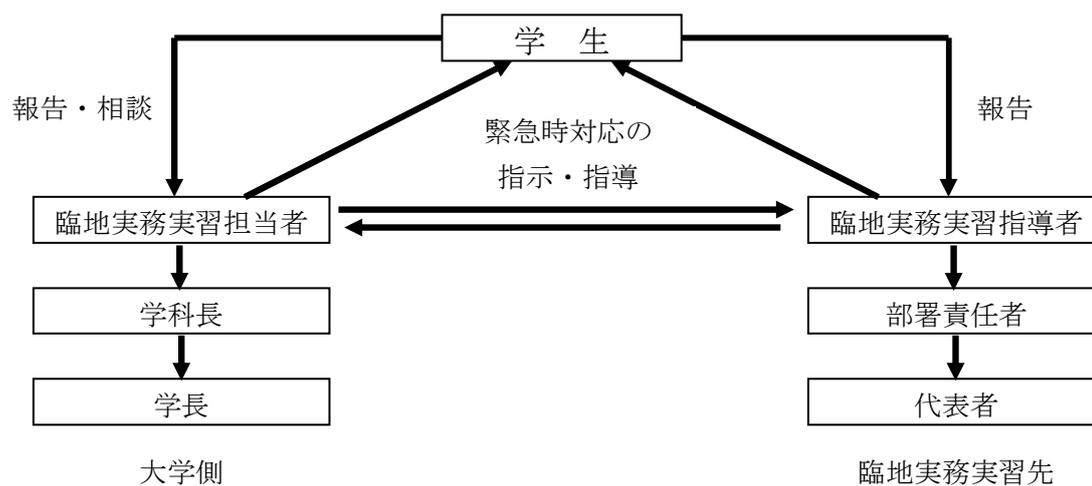
TEL 0538-30-0000

(平日上記時間以外、土・日・祝日)

③ 生産科学科 臨地実務実習担当専用携帯電話

TEL 090-0000-0000

<緊急時の連絡体制>



V (全員) 臨地実務実習の評価

1. 目的

臨地実務実習の評価は、農林業経営者としての態度・適性、実習の到達度について、指導の程度と学生の状況について評価し、臨地実務実習の状況を把握することを目的としている。

2. 評価項目

実習の成績評価は、①評価表、②自己点検表、③報告書、④報告会で行う。また、評価の比率を下表に示す。

評価項目	様式等	(作成者)	比率
①評価表	(様式8号)	(臨地実務実習指導者)	25%
②自己点検表	(様式10号)	(学生)	10%
③報告書	(様式11号)	(学生)	25%
④報告会	(パワーポイントを使った発表)	-	40%

3. 評価表による評価方法

臨地実務実習評価表は、職業人としての適性、生産管理、作業管理の各項目ならびに総合コメント等について記載するようになっている。臨地実務実習指導者は、下表の評価基準のとおり5段階で評価する。なお、到達度の各段階は、次の通りである。に沿って、評価を行う。

<評価基準>

評価	内容
A : 優秀	わずかな助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
B : 良好	時として助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
C : 普通	助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
D : やや劣る	多くの助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
E : 劣る	常に助言・指導を行うが、当該項目を実施できない。

4. 評価の手順

- (1) 臨地実務実習指導者が毎日、出欠の状況を確認し、臨地実務実習出欠表(様式第7号)へ押印する。最終日には、確認の上、署名捺印する。
- (2) 臨地実務実習指導者は、臨地実務実習評価表(様式第8~10号)を作成し、本学へ提出する。その各項目ならびに総合コメントは、臨地実務実習状況の要点、今後の学修において望まれる点について記載する。
- (3) 臨地実務指導者は、臨地実務実習評価表に署名・捺印し、記載年月日を記入する。

5. 単位認定

各実習において、全日程の80%以上の出席で単位認定の資格を得るものとする。

VI (学生) 臨地実務実習の受講

1. 臨地実務実習の心得

臨地実務実習は、先進的な農林業経営を行う経営体において、優れた技術や経営管理を実践的に習得することが目的である。

学生は、受入を行ってくれる農林業経営体が、経済社会の中で、日々、経営努力を行っていることを銘記し、真摯な態度で研修に臨む。

1) 臨地実務実習における事前準備

- ・学生は、臨地実務実習の受講にあたり、自分自身の将来の方向性などを鑑み、どのような農林業経営体で何を学びたいのか十分に検討を行い、臨地実務実習希望調書を提出する。
- ・学生は、臨地実務実習地の決定後は、実習先の名称、所在地、電話番号、交通経路、臨地実務実習指導者等について事前調査を行う。
- ・学生は、臨地実務実習施設における便宜（昼食、更衣室、宿泊施設等）についても確認する。

2) 規則・時間の厳守

- ・学生は、臨地実務実習施設の規則を知り、厳守する。
- ・学生は、就業時間、休憩時間、会議開催時間、臨地実務実習指導者等との面談予定時間等を厳守する。臨地実務実習時間は、臨地実務実習先の就業時間に準ずる。

3) 服装・整容・態度の留意

- ・学生は、圃場や山林での作業に適した服装を心がける。
- ・学生は、清楚な整容に勤め、頭髪・爪・化粧等は、不快感を与えないように留意する。
- ・学生は、礼儀と作法をわきまえ、謙虚で誠実な態度をとるよう留意する。

4) 健康管理

- ・学生は、自身の健康管理には十分留意し、規則正しい生活を送る。
- ・学英は、圃場や山林などの現場における危険性の高い作業、感染症リスク等について理解し、予防対策を行う。
- ・学生は、やむをえず体調を崩した場合は、臨地実務実習指導者へ連絡し対処する。

5) 指示の遵守

- ・学生は、臨地実務実習中は、臨地実務実習指導者の指示に従って行動する。
- ・学生は、指示や指導について不明な点がある場合は、質問・相談し、正確な行動をとる。勝手な解釈による行動をしない。

6) 連絡体制

- ・学生は臨地実務実習中の「欠席」、「遅刻」、「早退」及び、通学中または臨地実務実習中に発生した事故等は、臨地実務実習指導者及び本学へ連絡する。

- ・ 学生が、巡回指導以外で、本学教員に相談したい事項が生じた場合は、電話やメールにて連絡する。
- ・ (緊急連絡) 緊急事態が発生した場合は、臨地実務実習指導者へ連絡する。また、必要に応じて、大学教員へ連絡する。

<大学の緊急連絡先>

(平日 午前8時30分～午後6時まで)

①生産科学科 臨地実務実習担当

TEL 0538-30-0000

②静岡県立農林環境専門職大学 (代表番号)

TEL 0538-30-0000

(平日上記時間以外、土・日・祝日)

② 生産科学科 臨地実務実習担当専用携帯電話

TEL 090-0000-0000

7) 臨地実務実習施設への通学

- ・ 学生が、臨地実務実習施設へ通学する場合は、原則として公共交通機関を使用する。
- ・ 学生が、臨地実務実習の立地によって自動車等の使用が必要な場合は、臨地実務実習指導者ならびに臨地実務実習施設に自動車等の利用が可能なことを確認し、「自動車等使用届」(様式第12号)を本学へ提出して許可を得る。
- ・ 学生は、事故を未然に防ぐよう通学時間には時間的余裕をもつ。

8) 臨地実務実習施設への宿泊

- ・ 学生は、立地等により臨地実務実習施設へ宿泊して実習を行う場合は、実習先の生活様式を理解して適切に利用する。
- ・ 学生が、宿泊施設では、居室の整理・整頓を心がけ、適宜、清掃を行う。

9) 学習意欲

- ・ 学生は、感謝の気持ちを忘れずに、積極的に自ら学ぶ姿勢を持って学修に取り組む。
- ・ 学生は、次の視点を持って、学修に取り組む。

【視点】

- (ア) 現在行っていることは、全体の仕事の流れのなかでどの部分なのか。
- (イ) 現在行っていることは、何故行うのか。
- (ウ) 現在行っていることで、注意すべきことは何か。
- (エ) 現在行っていることに、改善すべきことはないか。
- (オ) 現在行っていることを、どのようにまとめ、記録し、今後の学修に役立たせるか。

- ・ 学生は、臨地実務実習先の方々とコミュニケーションを持つ。実習先の方々の言

動のなかから、「社会人の姿勢」を感得し、将来の自分自身の礎石とする。

10) 報告書の提出

- ・ 学生は、実習の中間地点および終了後に、自己点検表（様式第 12～14 号）を記入し、大学へ提出する。
- ・ 学生は、実習中は毎日、実習記録を記入する。臨地実務実習の終了後は、定められた期限までに実習報告書を提出する（様式第 15 号）。

(様式第1号)

臨地実務実習希望調書

臨地実務実習の目的は、先進的な農林業経営体での実習を通じて経営や技術、考え方などを学修することにあるため、何を学び習得するのか、自分自身の目的を明確に持つことが大切です。

本調書では、この目的を達成できるように、あなたの希望に沿った実習先を選定するための重要な資料となるので、十分に検討して記入してください。

1 希望する内容

作目・畜種	
内容	
理由	

2 希望する地域

地域	
理由	

3 研修先の条件

希望する条件	
その理由	

4 将来の進路希望（○をつける）

自家就農林、独立就農、法人就農、国内研修、海外研修、その他（ ）

5 その他（健康状態等の特別な事情がある場合に記入する）

(様式第2号)

臨地実務実習学生カード

(フリガナ)		男	生年月日	年 月 日
氏名		女	血液型	型 RH +・-
住所 (出身地)	〒 電話 ()			
出身高校名				(写真)
卒業年度				
資格・免許等				
特技				
家族構成	続柄	氏名	年齢	職業
			歳	
			歳	
			歳	
			歳	
経営概況	(○で囲んでください) 専業農家 第1種兼業農家 第2種兼業農家 林家 非農林家			
	基幹作目の種類、規模及び経営の特徴 (専業農家、第1種兼業農家、林家のみ記入してください)			
	種類	規模	経営の種類	
研修の目的・心構え				
備考				

(様式第4号)

〇〇第 号
〇〇年 月 日

〇〇 〇〇様

静岡県立農林環境専門職大短期大学部 学長

〇〇について (依頼)

貴社におかれましては、日々御清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本学の教育に御協力くださり、深く感謝申し上げます。

さて、御多用中のところ誠に恐れ入りますが、下記の学生について実習指導をお願い申し上げます。また、実習指導にあたっては、別添「臨地実務実習依頼事項について」に基づき、御指導頂ければ幸いです。

なお、実習の受入について御承諾頂ける場合は、「隣地実務実習承諾書」を御提出くださいますよう、併せてお願い申し上げます。

記

生産科学科

学生氏名 〇〇 〇〇

研修期間 〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇日

<別添>

臨地実務実習依頼事項について

静岡県立農林環境専門職大学短期大学部

1 臨地実務研修の目的

臨地実務実習は、学生が、先進的な農林業経営体において優れた生産技術や経営管理等を実践的に学修させるために行うものです。

皆様には、学生への指導事項等に御留意いただき、臨地実務実習の目的が達成できますよう御協力をお願いします。

2 学生への指導事項

- (1) 日常業務に従事させることで、実践的な生産技術や経営管理等について学修できるように、御指導をお願いします。
- (2) 日常業務や休憩、休日について御指導をお願いします。
- (3) 業務に関する会合等へは、可能な限り参加させていただきますよう、御協力をお願いします。
- (4) 日常業務に最低限必要とされる以外、自動車や自動二輪車等の運転をさせることがないように御協力をお願いします。
- (5) 自動車、自動二輪の持ち込みは、許可のない限り厳禁となっておりますので、御協力をお願いします。
- (6) 実習前後や実習中に、学生が貴経営体の経営について質問しますので、経営概況や経営の考え方等についてお答えくださいますよう、御協力をお願いします。

3 大学への報告・連絡・相談

- (1) 臨地実務実習の受入式及び終了式を、原則として農林事務所で行いますので、御出席をお願いします。なお、日時は、別途、御連絡いたします。
- (2) 大学より、訪問及び電話等で学生の実習状況を確認しますので、御協力をお願いします。
- (3) 実習期間中の訪問指導以外において、実習指導上、大学との報告・連絡・相談が必要な場合は、随時御連絡ください。その対応について臨地実務実習指導者と本学の双方が情報共有し、十分な話し合いを行うようにします。また、状況に応じて臨地実務実習担当者が訪問します。
- (4) 事故等が発生した場合は、どのような内容であっても、速やかに大学担当者まで御連絡をお願いします。学生は賠償責任保険に加入しております。
- (5) 台風や地震等の災害発生、その他諸事情による緊急事態が発生した場合には、速やかに本学まで連絡してください。本学からの緊急時の連絡体制は別表に示すとおりです。
- (6) 実習終了時の成績評価表は、実習終了後1週間以内に、本学へ郵送にて返信願います。

4 その他

- (1) 名目の如何を問わず、学生に現金や現金に類するもの（商品券、電子マネー等）を与えないようお願いいたします。

<連絡先>

(平日 午前8時30分～午後6時まで)

- ① 生産科学科 臨地実務実習担当

TEL 0538-30-0000

- ② 静岡県立農林環境専門職大学 (代表番号)

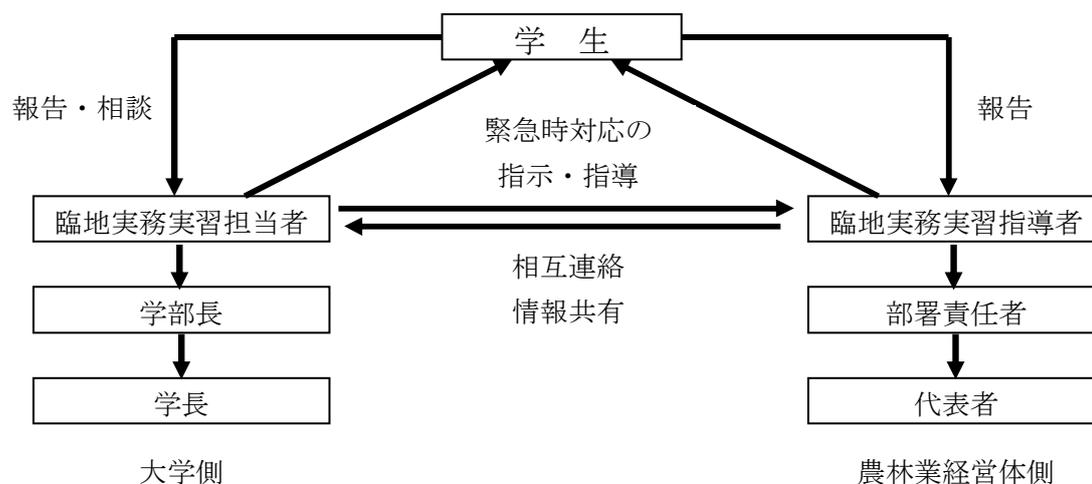
TEL 0538-30-0000

(平日上記時間以外、土・日・祝日)

- ③ 生産科学科 臨地実務実習担当専用携帯電話

TEL 090-0000-0000

<緊急時の連絡体制>



(様式第5号)

承 諾 書

〇〇 年 月 日

静岡県立農林環境専門職大学短期大学部

学長 〇〇 〇〇 様

住所

氏名

2年生産科学科学生の臨地実務実習「企業実習」について、下記のとおり学生の受入を承諾します。

記

- 1 受入学生
生産科学科2年 〇〇 〇〇
- 2 受入期間
〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇日
- 3 学生の研修内容

- 4 その他
学生の自動車等による通学等 (可 ・ 不可)

(様式第7号)

臨地実務実習出欠表

(講義名：)

実習施設名	
学生氏名	
実習期間	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()
講義時間	午前 時 分 ~ 午後 時 分

週	月	火	水	木	金	土	日
第1週							
第2週							
第3週							
第4週							
第5週							
第6週							
第7週							
第8週							
第9週							
第10週							

※ 1 出席日には臨地実務実習指導者が押印してください。

※ 2 「欠席」、「遅刻」、「早退」の場合は、その旨を記載してください。

出席日数	欠席日数	遅刻日数	早退日数

(確認日) 年 月 日

(臨地実務実習指導者名)

Ⓜ

(様式第8号)

企業実習 評価表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

【出席記録】

期 間	年 月 日～ 年 月 日
-----	--------------

【成績評価基準】

評価	内容
A : 優秀	わずかな助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
B : 良好	時として助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
C : 普通	助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
D : やや劣る	多くの助言・指導を必要とするが、当該項目を実施できる。
E : 劣る	常に助言・指導を行うが、当該項目を実施できない。

I 職業人としての適性

	評 価 項 目	評 価
1	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E
2	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E
3	従業員と協調して仕事出来る。	A B C D E
4	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E
5	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（栽培）

項目	評価事項		評価基準	
	No	内容	A B C D E	
1 農業一般	志向・態度	1-1	農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。	A B C D E
	志向・態度	1-2	作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。	A B C D E
	知識・理解	1-3	作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)	A B C D E
	知識・理解	1-4	植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)	A B C D E
	知識・理解	1-5	栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-6	被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明でき	A B C D E
	知識・理解	1-7	栽培施設の種類と構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-8	栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-9	測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-10	環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-11	養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
2 土づくり	知識・理解	2-1	土性の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	2-2	土壌を観察し、土性を判断できる。	A B C D E
	知識・理解	2-3	土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-4	栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-5	栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-6	肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-7	土壌診断の必要性を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	2-8	土壌診断や、草勢、着果具合など生育にあわせて、施肥・追肥の計画を立てられる。	A B C D E
3 病害虫・雑草管理・生理障害	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-2	病害や虫害が発生した場合、その原因を判断できる。	A B C D E
	技能	3-3	適切な防除時期を判断できる。	A B C D E
	知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-5	病害虫に対して適切な防除資材を判断できる。	A B C D E
	知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-9	生育異常が発見でき、その原因を判断できる。	A B C D E
	技能	3-10	生育異常に対する対応策を判断できる。	A B C D E
	知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-12	農薬のラベルを見て、適性作物、使用量・使用濃度の確認が出来る。	A B C D E
	知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-14	事故防止のための手段を行っている。	A B C D E

4	栽培管理 (草本植物 (野菜・花等))	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。	A B C D E
		知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	4-3	栽培品目や作付体系にあわせて、適切に播種ができる。	A B C D E
		知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	4-5	栽培品目にあわせて、適切に接ぎ木が出来る。	A B C D E
		知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明できる。	A B C D E
		知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	4-8	育苗中に、気象変化に応じて、温度管理・水管理ができる。	A B C D E
		技能	4-9	栽培品目にあわせて、育苗をし、必要な苗数を確保できる。	A B C D E
		技能	4-10	栽培品目にあわせて、適切に定植できる	A B C D E
		知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	4-12	栽培品目にあわせて、かん水が適切にできる。	A B C D E
		知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	4-14	栽培品目にあわせて、うね立てが出来る。	A B C D E
		知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	4-16	栽培品目にあわせて、整枝、誘引ができる。	A B C D E
		知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	4-18	生育状況に合わせて、摘葉、摘花、摘果すべき箇所を理解し、実施できる。	A B C D E
		知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	4-20	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。	A B C D E
5	栽培管理 (永年植物 (茶・果樹等))	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。	A B C D E
		知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。(葉芽、花芽、開花、結実等)	A B C D E
		知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	5-4	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの方法で、苗木の増殖ができる。	A B C D E
		知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
		知識・理解	5-6	(果樹)果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	5-7	(果樹)果樹の栽培品目毎に、適切な誘引ができる。	A B C D E
		知識・理解	5-8	(果樹)受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	5-9	(果樹)栽培品目毎に、適切に受粉、摘蕾、摘花、摘果ができる。	A B C D E
		知識・理解	5-10	(果樹)袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	5-11	(果樹)栽培品目ごとに、袋かけの適切な時期を判断し、実行できる。	A B C D E
		知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E
技能	5-13	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。	A B C D E		
6	出荷	知識・理解	6-1	等級間の価格の違いを理解し、説明できる。	A B C D E
		知識・理解	6-2	出荷調整作業の内容を理解し、説明できる。	A B C D E
		技能	6-3	栽培品目毎に、適切に出荷調整ができる。	A B C D E
		技能	6-4	出荷調整時に、品質低下を防ぐことができる。	A B C D E

コメント

II 生産管理（林業）

項目	評価事項		評価基準
	No	内容	A B C D E
1 林業の基礎	知識・理解	1-1 森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-2 森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-3 森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	1-4 森林の種類について理解し、分類できる。	A B C D E
	知識・理解	1-5 森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。	A B C D E
2 森林調査	知識・理解	2-1 森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-2 森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	2-3 森林調査を実施できる。	A B C D E
3 服装と道具	知識・理解	3-1 森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	3-2 小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-3 小型の林業機械を安全に使用できる。	A B C D E
	技能	3-4 作業にあった服装や道具を選択できる。	A B C D E
4 造林技術	知識・理解	4-1 人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2 人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-3 人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-4 人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-5 人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	4-6 人工林の造林技術を実施できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7 天然林における施業方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-8 山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。	A B C D E
5 森林保護管理	知識・理解	5-1 森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-2 森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-3 森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-4 森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	5-5 森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	5-6 森林被害に対し、対策を実施できる。	A B C D E
6 収穫技術	知識・理解	6-1 立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-2 集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-3 森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。	A B C D E

コメント

Ⅱ 生産管理：畜産

※実習先が牧場・肉牛の場合は項目2と3、養豚の場合は項目4と5、養鶏の場合は項目6と7を使用する。

項目	評価事項		評価基準
	No	内容	
1 畜産基礎	知識・理解	1-1 家畜の生活環について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-2 経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-3 飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。	A B C D E
	知識・理解	1-4 飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。	A B C D E
2 家畜と飼料の基礎知識(牛)	知識・理解	2-1 牛の品種と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-2 牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-3 牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-4 牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-5 飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-6 適切な飼料給与について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-7 疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-8 生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-9 繁殖生理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-10 発情生理と人工授精について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-11 子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	2-12 糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
3 管理作業(牛)	知識・理解	3-1 1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	3-2 (施設) 通路の点検が出来る。	A B C D E
	技能	3-3 (施設) 飼料の管理、掃き寄せが出来る。	A B C D E
	技能	3-4 (施設) 飼槽の管理が出来る。	A B C D E
	技能	3-5 (施設) 水槽の管理が出来る。	A B C D E
	技能	3-6 (施設) 牛の快適な環境を理解し、牛舎の換気が出来る。	A B C D E
	技能	3-7 (施設) 牛床の管理が出来る	A B C D E
	技能	3-8 (施設) 外部寄生虫の防除方法を理解し、実践できる。	A B C D E
	技能	3-9 (施設) 牛舎内の牛の観察をして、異常を発見できる。	A B C D E
	技能	3-10 (健康の点検) 食欲の有無を観察し、異常が発見できる。	A B C D E
	技能	3-11 (健康の点検) 目の観察をし、異常を発見できる。	A B C D E
	技能	3-12 (健康の点検) 鼻の観察をし、異常が発見できる。	A B C D E
	技能	3-13 (健康の点検) 挙動を観察し、その疾病や課題が発見できる。	A B C D E
	技能	3-14 (健康の点検) 尾根部や尾の状態を観察し、異常が発見できる。	A B C D E
	技能	3-15 (健康の点検) 呼吸の状態を観察し、異常が発見できる。	A B C D E
	技能	3-16 (健康の点検) 発咳を発見し、原因がわかる。	A B C D E
	技能	3-17 (健康の点検) 牛の適正な体温を理解し、異常時は発見できる。	A B C D E
	技能	3-18 (健康の点検) 被毛の状態を観察し、異常を発見できる。	A B C D E
	技能	3-19 (繁殖) 発情の周期を理解し、観察・発見できる。	A B C D E
	技能	3-20 (乳牛) 搾乳の手順を理解し、実践できる。	A B C D E
4 家畜と飼料の基礎知識(豚)	知識・理解	4-1 豚の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-2 豚の繁殖方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-3 子豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-4 肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-5 飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-6 消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-7 豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-8 豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4-9 暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	4- 糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
知識・理解	4- ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる。	A B C D E	

5 管理作業 (豚)	技能	5-1	子豚哺乳・育成時の適温について理解し、適切な暖房使用ができる。	A B C D E
	技能	5-2	豚の習性を理解し、正しい接し方ができる。	A B C D E
	技能	5-3	適切に飼槽、飲水の管理ができる。	A B C D E
	技能	5-4	子豚の去勢方法について理解し、適切に実施できる。	A B C D E
	技能	5-5	繁殖豚の発情メカニズム、交配、分娩について理解し、実践できる。	A B C D E
	技能	5-6	飼料の保存や取扱いについて理解し、実践できる。	A B C D E
	技能	5-7	暑熱時の適切な管理方法について理解し、実践できる。	A B C D E
6 家畜の飼料の基礎知識 (鶏)	知識・理解	6-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-9	(採卵鶏)産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-10	(採卵鶏)採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-11	(採卵鶏)鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-12	(肉用鶏)肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-13	(肉用鶏)入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	6-14	(肉用鶏)肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。	A B C D E
7 管理作業 (鶏)	技能	7-1	育すう期の適切な温度・湿度を理解し、適切な温度・湿度・換気管理ができる。	A B C D E
	技能	7-2	生育期に合わせて、適切な給餌器・給水器管理ができる。	A B C D E
	技能	7-3	デビークを行う理由を理解し、適切に実施できる。	A B C D E
	技能	7-4	適切な体重を理解し、適切な時期に体重測定が実施できる。	A B C D E
	技能	7-5	飼料の適切な管理方法について理解し、実施できる。	A B C D E
	技能	7-6	鶏舎の適切な管理温度を理解し、換気や防寒対策ができる。	A B C D E
8 衛生管理	知識・理解	8-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。	A B C D E
	知識・理解	8-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。	A B C D E
	技能	8-3	消毒器・消毒層・消毒帯の管理方法を理解し、実践できる。	A B C D E
	技能	8-4	消毒薬の使用上の注意を理解し、適切に使用できる。	A B C D E
	技能	8-5	衛生管理区域内への鳥類、小動物の侵入の必要性を理解し、実施できる。	A B C D E

コメント

Ⅲ 総合コメント

1. 実習中の状況について御記入ください。

[]

2. 学生の現在の弱点及び今後の課題について御記入ください。

[]

3. その他、お気づきの点があれば御記入ください。

[]

(様式第9号)

自動車等使用届

平成 年 月 日

農林環境専門職大学長 様

本人氏名 ⑩
保護者氏名 ⑩

下記のとおり、(講義名)において自動車等を使用したいので届け出ます。
なお、使用に際しては別紙に従います。また、万が一事故を起こしたときは、自己の責任で処理することを確約します。

記

1 使用自動車等

車名	
車色	
ナンバー	

2 免許

免許証番号	
取得年月日	

3 任意保険の加入状況

	金額	期間	会社名
対人			
対物			
自損			
搭乗者			

(別紙)

臨地実務実習における自動車等の使用について

1 手続き

自動車等の使用を希望する学生は、研修先の承諾と保護者の同意を基に自動車等使用届けを大学に提出する。

2 遵守事項

- (1) 事故等に対する十分な賠償責任を持つ保険に加入する。
- (2) 交通関係法規を守り、常に安全に努める。
- (3) 実習先の指定された場所に駐車し、無断駐車や違法駐車をしない。
- (4) その他、大学の指示に従うこと。

3 事故、違反の報告

交通事故または道路交通法違反を起こした場合は、速やかに大学へ報告する。

4 その他

- (1) 自動車等使用届の提出時に、免許証及び任意保険証を提示すること。
- (2) 実習場所の内外を問わず、自動車等の事故等についてい大学は一切の責任を負わない。

(様式第 10 号)

企業実習 自己点検表

臨地実務実習施設名	
学生氏名	

中間評価記載日	年 月 日
最終評価記載日	年 月 日

【評価基準】

評価	内容
A : できている	助言・指導を特に必要とせず、良く理解し十分に積極的に行動できている。
B : ややできている	助言・指導を時として必要だが、理解し積極的に行動できている。
C : 普通	助言・指導があれば、何とか理解して行動できている。
D : ややできていない	助言・指導があっても理解度が低くて消極的であり、なかなか行動できていない。
E : 全くできていない	助言・指導があっても、理解できないため、行動ができない。

I 職業人としての適性

	評価項目	中間評価	最終評価
1	規則や心得を守ることが出来る。	A B C D E	A B C D E
2	与えられた仕事を、責任を持って遂行できる。	A B C D E	A B C D E
3	従業員と協調して仕事ができる。	A B C D E	A B C D E
4	実習学生として必要な基礎知識を有している。	A B C D E	A B C D E
5	農林業に対する探究心・意欲及び創造性が見られる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（栽培）

項目	評価事項		中間評価	最終評価	
	No	内容			
1 農業一般	志向・態度	1-1	農作業を行う際は、安全作業を心がけて行っている。	A B C D E	A B C D E
	志向・態度	1-2	作業記録の必要性を理解し、作業記録を作成している。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	作物の器官を理解し、説明できる。(葉、茎、根、花、果実)	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-4	植物生理を理解し、説明できる。(光合成、呼吸、蒸散、吸収、花芽形成)	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-5	栽培品目毎の生育適温や水分条件等を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-6	被覆資材の種類と特徴、使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-7	栽培施設の種類の構造、被覆用資材の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-8	栽培施設に設置される装置の種類と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-9	測定が必要な環境要因(温度、湿度、二酸化炭素等)を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-10	環境測定に必要な機器を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-11	養液栽培の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 土づくり	知識・理解	2-1	土性の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	2-2	土壌を観察し、土性を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-3	土の団粒構造、三層構造を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-4	栽培品目に適したpHなどを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-5	栽培品目に適した土壌改良や施肥計画が理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-6	肥料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-7	土壌診断の必要性を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	2-8	土壌診断や、草勢、着果具合など生育にあわせて、施肥・追肥の計画を立てられる。	A B C D E	A B C D E
3 病害虫・雑草管理・生理障害	知識・理解	3-1	栽培品目の主要な病害や害虫を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-2	病害や虫害が発生した場合、その原因を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-3	適切な防除時期を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-4	病害虫の防除の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-5	病害虫に対して適切な防除資材を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-6	病害や虫害が発生しにくい環境を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-7	栽培品目の生理障害とその原因を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-8	生育異常が発生しやすい部位を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-9	生育異常が発見でき、その原因を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-10	生育異常に対する対応策を判断できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-11	農薬の安全使用について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-12	農薬のラベルを見て、適性作物、使用量・使用濃度の確認が出来る。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-13	病害虫防除・雑草防除に使用する機器と操作方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-14	事故防止のための手段を行っている。	A B C D E	A B C D E

4	栽培管理 (草本植物 (野菜・花等))	知識・理解	4-1	作付体系と作型を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-2	播種の方法や発芽方法、発芽率を理解し、説明でき	A B C D E	A B C D E
		技能	4-3	栽培品目や作付体系にあわせて、適切に播種ができ	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-4	接ぎ木の時期・方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	4-5	栽培品目にあわせて、適切に接ぎ木が出来る。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-6	必要な苗数を確保するための育苗方法を理解し、説明 できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-7	栽培品目毎の育苗期間や生育適温、水分条件を理解 し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	4-8	育苗中に、気象変化に応じて、温度管理・水管理がで きる。	A B C D E	A B C D E
		技能	4-9	栽培品目にあわせて、育苗をし、必要な苗数を確保で きる。	A B C D E	A B C D E
		技能	4-10	栽培品目にあわせて、適切に定植できる	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-11	かん水方法の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	4-12	栽培品目にあわせて、かん水が適切にできる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-13	うねの種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	4-14	栽培品目にあわせて、うね立てが出来る。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-15	整枝や誘引方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	4-16	栽培品目にあわせて、整枝、誘引ができる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-17	摘葉、摘花、摘果の作業を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	4-18	生育状況に合わせて、摘葉、摘花、摘果すべき箇所を 理解し、実施できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	4-19	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	4-20	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。	A B C D E	A B C D E
5	栽培管理 (永年植物 (茶・果樹等))	知識・理解	5-1	栽培品目のライフサイクルを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-2	栽培品目の生育について理解し、説明できる。(葉芽、 花芽、開花、結実等)	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-3	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの 苗木の生産・育成方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	5-4	栽培品目毎に、接ぎ木や挿し木、取り木、実生などの 方法で、苗木の増殖ができる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-5	栽培品目毎に、整枝・せん定の方法を理解し、説明で きる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-6	(果樹)果樹の栽培品目毎に仕立て方を理解し、説明 できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	5-7	(果樹)果樹の栽培品目毎に、適切な誘引ができる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-8	(果樹)受粉、摘蕾、摘花、摘果について理解し、説明 できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	5-9	(果樹)栽培品目毎に、適切に受粉、摘蕾、摘花、摘果 ができる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-10	(果樹)袋かけに使用する袋の種類を理解し、説明でき る。	A B C D E	A B C D E
		技能	5-11	(果樹)栽培品目ごとに、袋がけの適切な時期を判断 し、実行できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	5-12	収穫適期の判断方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	5-13	収穫適期を判断し、適切な方法で収穫できる。	A B C D E	A B C D E
6	出荷	知識・理解	6-1	等級間の価格の違いを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		知識・理解	6-2	出荷調整作業の内容を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
		技能	6-3	栽培品目毎に、適切に出荷調整ができる。	A B C D E	A B C D E
		技能	6-4	出荷調整時に、品質低下を防ぐことができる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（林業）

項目	評価事項		中間評価	最終評価	
	No	内容			
1 林業の基礎	知識・理解	1-1	森林をつくる樹木の種類、その組織と構造、生理機能、森林の階層構造を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-2	森林と、森林をとりまく気候や地形、土壌の関係を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3	森林の発達と遷移、遷移の仕組みについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	1-4	森林の種類について理解し、分類できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-5	森林が持つ様々な機能について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 森林調査	知識・理解	2-1	森林調査で収集する調査項目を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-2	森林調査に必要な道具や調査方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	2-3	森林調査を実施できる。	A B C D E	A B C D E
3 服装と道具	知識・理解	3-1	森林での作業に必要な道具や適切な服装について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	3-2	小型の林業機械の種類や適切な使用方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-3	小型の林業機械を安全に使用できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-4	作業にあった服装や道具を選択できる。	A B C D E	A B C D E
4 造林技術	知識・理解	4-1	人工林における伐採の種類と方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2	人工林における地ごしらえと植栽の種類と方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-3	人工林における初期保育のための作業の種類や方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4	人工林における枝打ちの目的や作業方法、必要な道具について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-5	人工林における間伐の目的と作業方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	4-6	人工林の造林技術を実施できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7	天然林における施業方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-8	山林毎にどのような施業方法が適切か理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
5 森林保護管理	知識・理解	5-1	森林の観察方法や観察部位について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-2	森林における病害や虫害の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-3	森林に被害を及ぼす鳥獣の種類を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-4	森林の気象被害の発生機構を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	5-5	森林火災の発生原因や防火対策を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-6	森林被害に対し、対策を実施できる。	A B C D E	A B C D E
6 収穫技術	知識・理解	6-1	立木の収穫時期、伐倒作業、造材作業、集材作業、高性能林業機械など伐出技術について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-2	集材方法と特徴、伐採した木材の測定方法など、伐採方法と伐出技術について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-3	森林を通る道の種類と働きについて理解し説明できる。	A B C D E	A B C D E

II 生産管理（畜産）

項目	評価事項		中間評価	最終評価
	No	内容		
1 畜産基礎	知識・理解	1-1 家畜の生活環境について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-2 経営形態の種類と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-3 飼料の種類や給与形態について、理解し説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	1-4 飼料管理の重要ポイントを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
2 家畜と飼料の基礎知識（牛）	知識・理解	2-1 牛の品種と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-2 牛の飼育方法と特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-3 牛舎の種類とその構造について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-4 牛の消化器の構造と消化のしくみについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-5 飼料の種類とその成分について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-6 適切な飼料給与について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-7 疾病とその発生要因、症状、生産性への影響を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-8 生殖器の構造・機能について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-9 繁殖生理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-10 発情生理と人工授精について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-11 子牛の哺育と育成方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	2-12 糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
3 管理作業（牛）	知識・理解	3-1 1日の作業スケジュールについて理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-2 (施設) 通路の点検が出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-3 (施設) 飼料の管理、掃き寄せが出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-4 (施設) 飼槽の管理が出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-5 (施設) 水槽の管理が出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-6 (施設) 牛の快適な環境を理解し、牛舎の換気が出来る。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-7 (施設) 牛床の管理が出来る	A B C D E	A B C D E
	技能	3-8 (施設) 外部寄生虫の防除方法を理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-9 (施設) 牛舎内の牛の観察をして、異常を発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-10 (健康の点検) 食欲の有無を観察し、異常が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-11 (健康の点検) 目の観察をし、異常を発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-12 (健康の点検) 鼻の観察をし、異常が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-13 (健康の点検) 挙動を観察し、その疾病や課題が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-14 (健康の点検) 尾根部や尾の状態を観察し、異常が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-15 (健康の点検) 呼吸の状態を観察し、異常が発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-16 (健康の点検) 発咳を発見し、原因がわかる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-17 (健康の点検) 牛の適正な体温を理解し、異常時は発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-18 (健康の点検) 被毛の状態を観察し、異常を発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-19 (繁殖) 発情の周期を理解し、観察・発見できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	3-20 (乳牛) 搾乳の手順を理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
4 家畜と飼料の基礎知識（豚）	知識・理解	4-1 豚の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-2 豚の繁殖方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-3 子豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-4 肥育豚の飼育方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-5 飼料の種類や特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-6 消化器の構造と消化のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-7 豚の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-8 豚舎の環境と衛生管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4-9 暑熱が豚に及ぼす影響について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4- 糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	4- ワクチン接種プログラムを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E

5 管理作業（豚）	技能	5-1	子豚哺乳・育成時の適温について理解し、適切な暖房使用ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-2	豚の習性を理解し、正しい接し方ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-3	適切に飼槽、飲水の管理ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-4	子豚の去勢方法について理解し、適切に実施できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-5	繁殖豚の発情メカニズム、交配、分娩について理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-6	飼料の保存や取扱いについて理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	5-7	暑熱時の適切な管理方法について理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
6 家畜の飼料の基礎知識（鶏）	知識・理解	6-1	鳥の品種と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-2	飼育設備の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-3	鶏舎の設備と機器と使用方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-4	消化器の構造と消化・吸収のしくみを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-5	飼料の種類と特徴を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-6	鶏の疾病と予防方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-7	鳥インフルエンザとその防御方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-8	糞尿の処理方法や堆肥利用の方法を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-9	（採卵鶏）産卵鶏の産卵と成鶏の管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-10	（採卵鶏）採卵の採取とふ化やひなの管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-11	（採卵鶏）鶏卵の規格と品質、品質を決める要因を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-12	（肉用鶏）肉用鶏の成長の特徴について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-13	（肉用鶏）入すうから出荷までの管理について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	6-14	（肉用鶏）肉用鶏の調査方法について理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
7 管理作業（鶏）	技能	7-1	育すう期の適切な温度・湿度を理解し、適切な温度・湿度・換気管理ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	7-2	生育期に合わせて、適切な給餌器・給水器管理ができる。	A B C D E	A B C D E
	技能	7-3	デビークを行う理由を理解し、適切に実施できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	7-4	適切な体重を理解し、適切な時期に体重測定が実施できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	7-5	飼料の適切な管理方法について理解し、実施できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	7-6	鶏舎の適切な管理温度を理解し、換気や防寒対策ができる。	A B C D E	A B C D E
8 衛生管理	知識・理解	8-1	家畜区域と管理区域の違いを理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	知識・理解	8-2	管理区域の出入り口の消毒の必要性や消毒施設を理解し、説明できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	8-3	消毒器・消毒層・消毒帯の管理方法を理解し、実践できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	8-4	消毒薬の使用上の注意を理解し、適切に使用できる。	A B C D E	A B C D E
	技能	8-5	衛生管理区域内への鳥類、小動物の侵入の必要性を理解し、実施できる。	A B C D E	A B C D E

Ⅲ 自分自身が頑張っていること、困っていること（中間評価時）

A large, empty, rounded rectangular bracketed area, intended for the respondent to write their answers to the question above. The brackets are on the left and right sides, with the top and bottom lines being curved.

(様式第 11 号)

(講義名) 報告書

学 年 _____

学生氏名 _____

実習先名 _____

研修期間 平成 年 月 日から

平成 年 月 日まで

[研修先]

農林業基礎・経営概況等（Ⅰ）

代表者名				
事業所名 (法人の場合)				
事業 内 容	設立年		資本金	
	従業員数		年間売上	
	主要事業内容			
区分		面積等		主要作物名等
水田		a		
普通畑		a		
施 設	ガラス室	棟	m ²	
	ハウス	棟	m ²	
樹 園 地	茶園	a	品種園 在来園 自園自製	
	果樹園	a	柑橘園 落葉果樹園 その他	
	果樹園	a	柑橘園 落葉果樹園 その他	
その他		a		
山林		ha		
家 畜	乳用牛	頭		
	肉用牛	頭		
	種豚	頭		
	肉豚	頭		
	鶏	羽	採卵鶏 ブロイラー	
	その他			

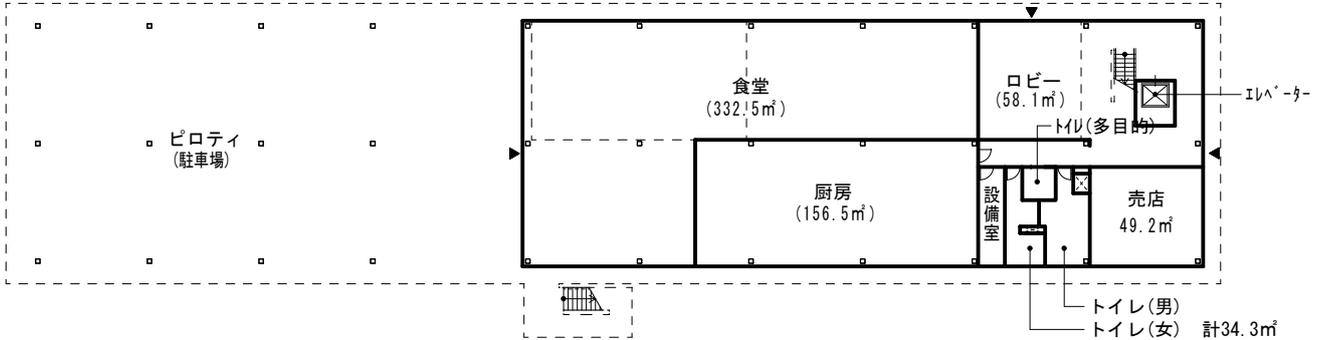
実習記録

月 日	月 日 曜日	天 候	
/	研修内容	着眼点・反省点・疑問点	
午前			
午後			
指導 事項	(担当者 :)	(担当者 :)	

月 日	月 日 曜日	天 候	
/	研修内容	着眼点・反省点・疑問点	
午前			
午後			
指導 事項	(担当者 :)	(担当者 :)	

C棟レイアウト図

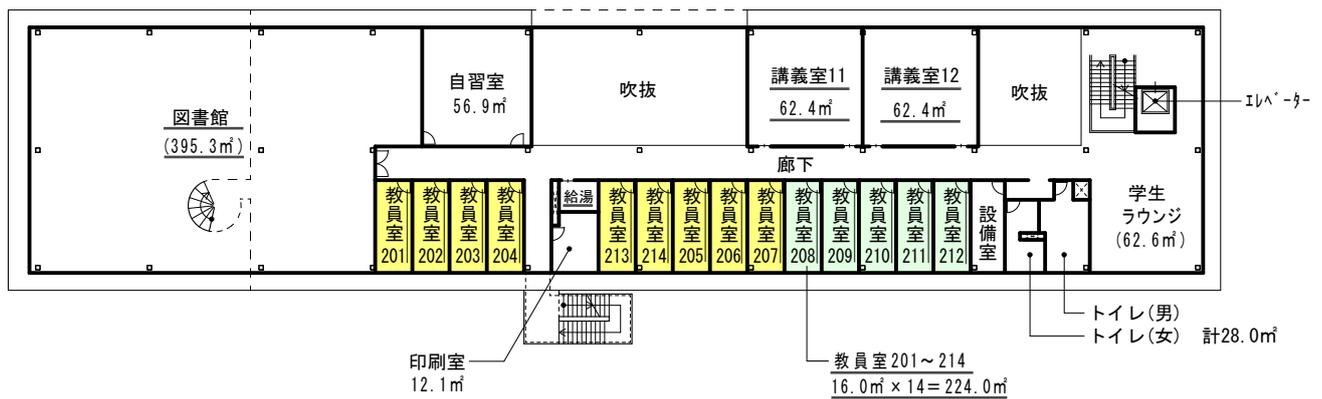
① 1階（延床面積：730.3㎡）



< 1階平面図 >

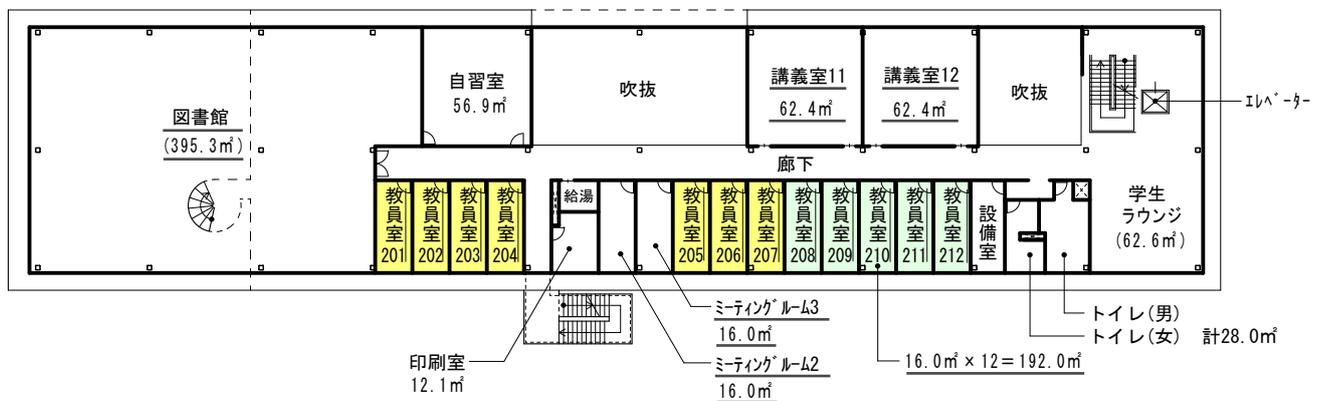
② 2階（延床面積：1,110.6㎡）

ア) 第2年次



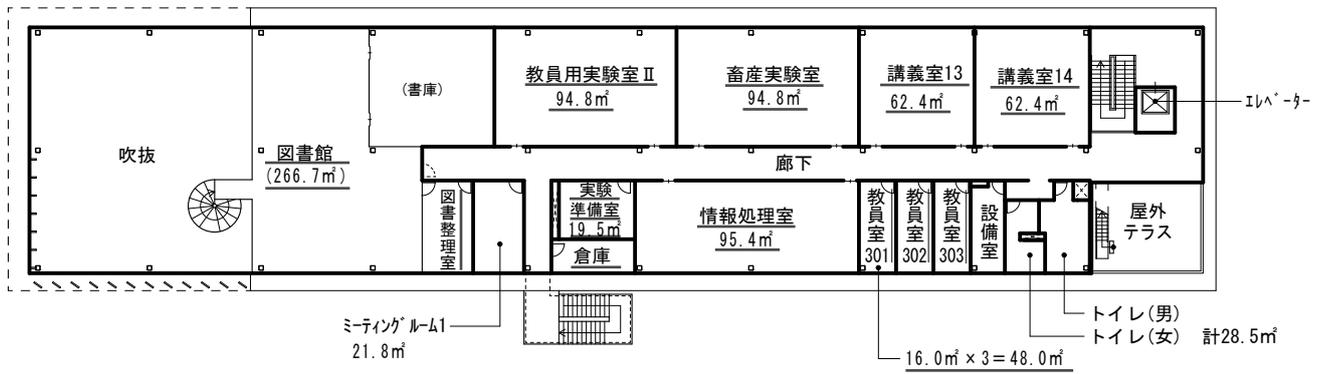
< 2階平面図（第2年次） >

イ) 第3年次～



< 2階平面図（第3年次～） >

③ 3階（延床面積：1,015.5㎡）



< 3階平面図 >

3 建物の平面図

■ : 静岡県立農林環境専門職大学短期大学部専用を示す。

■ : 静岡県立農林環境専門職大学専用部分を示す。

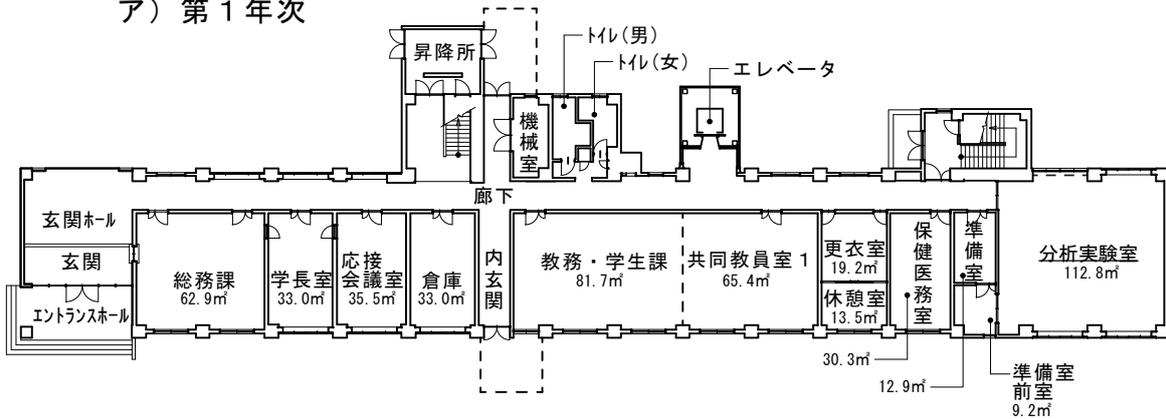
□ : 静岡県立農林環境専門職大学短期大学部及び静岡県立農林環境専門職大学の共用部分を示す。

(平成32年度は静岡県立農林大学校とも共用)

(1) A棟 (延床面積 : 3,094.6㎡)

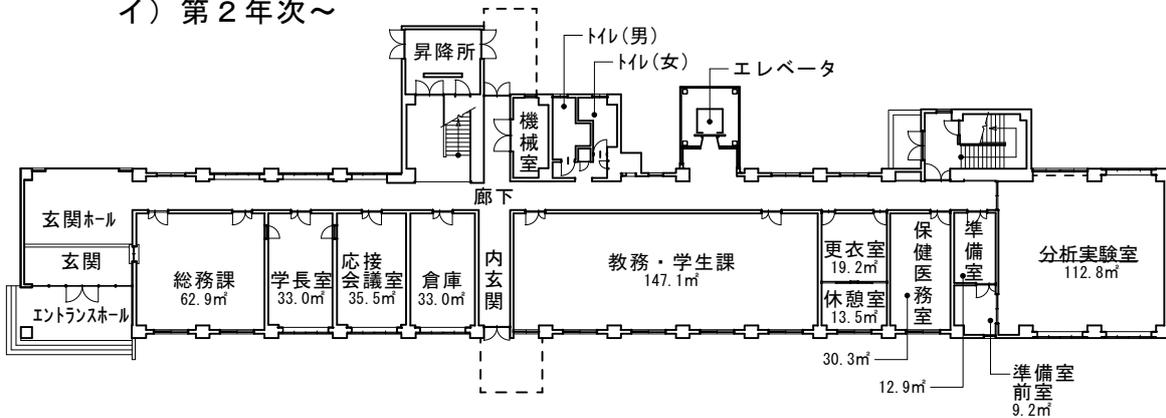
① 1階 (延床面積 : 815.3㎡)

ア) 第1年次



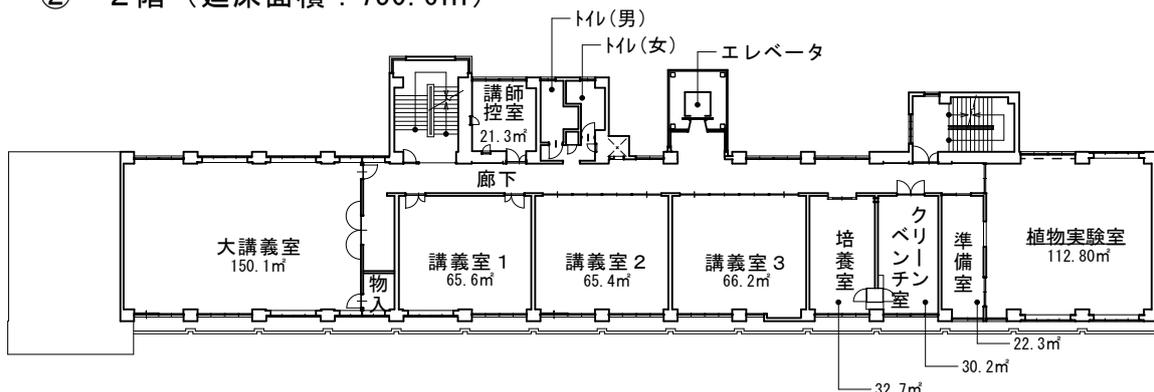
< 1階平面図 (第1年次) >

イ) 第2年次～



< 1階平面図 (第2年次～) >

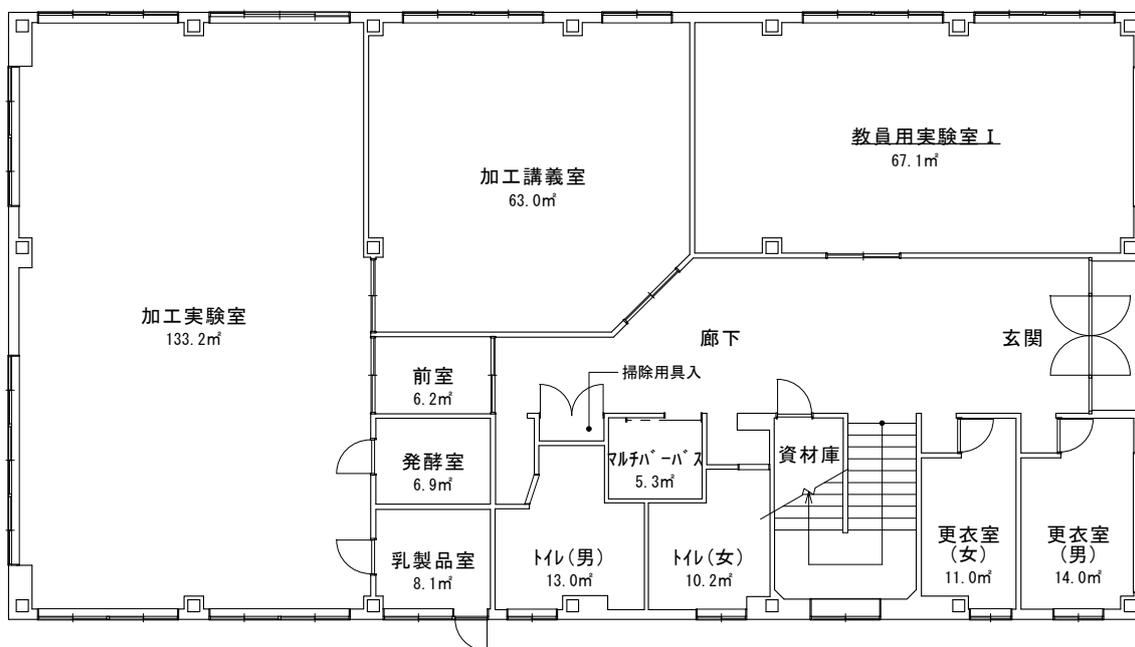
② 2階 (延床面積 : 750.6㎡)



< 2階平面図 >

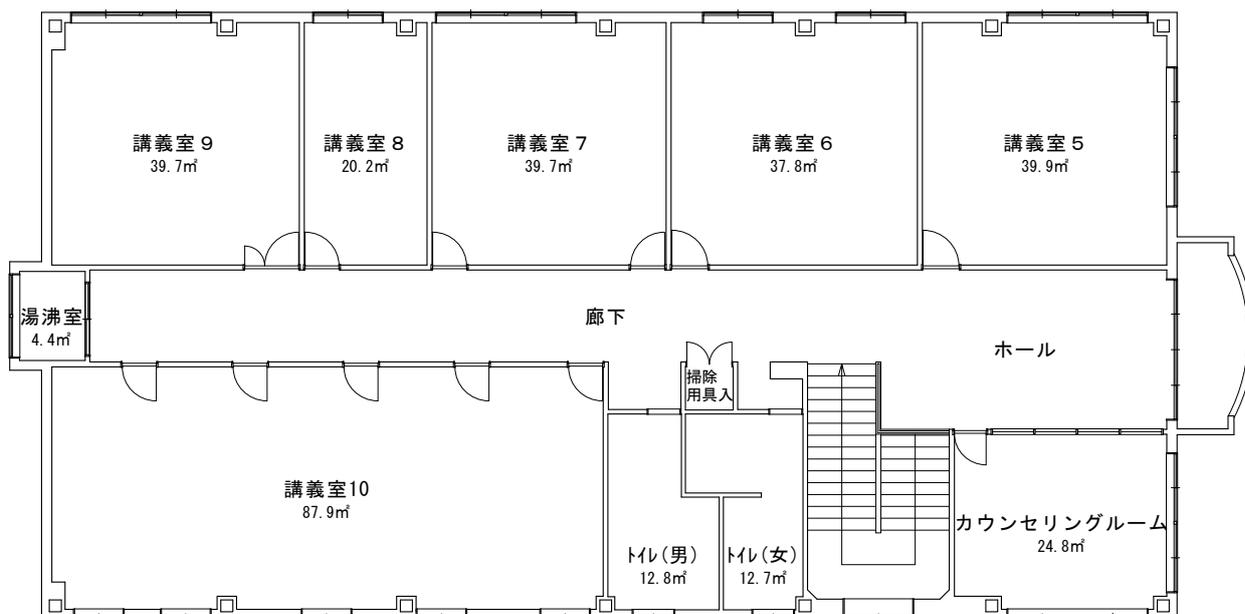
(3) B棟 (延床面積 : 845.0㎡)

① 1階 (延床面積 : 419.2㎡)



< 1階平面図 >

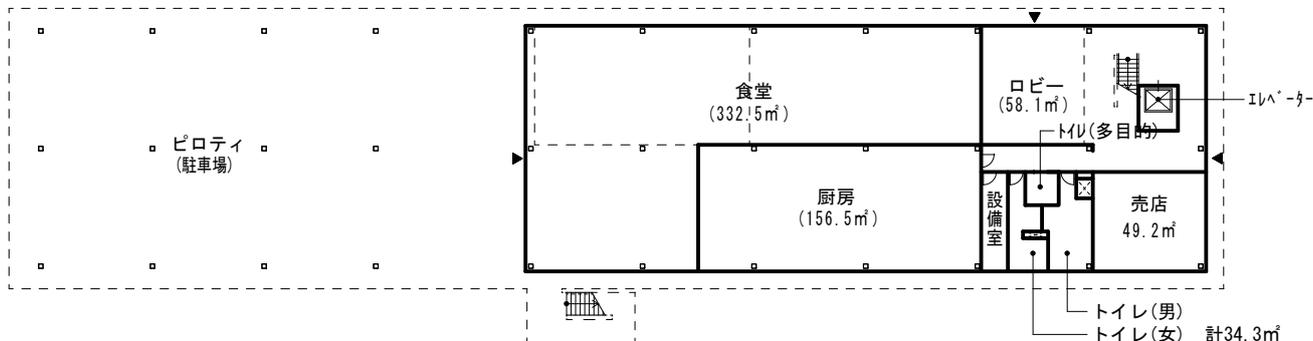
② 2階 (延床面積 : 425.8㎡)



< 2階平面図 >

(3) C棟 (延床面積 : 2,856.4㎡) 第2年次～

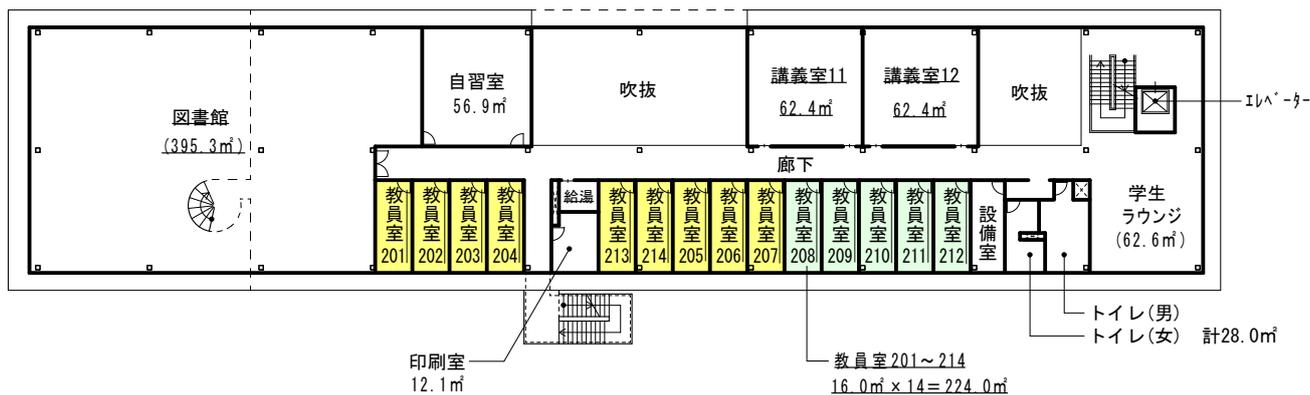
① 1階 (延床面積 : 730.3㎡)



< 1階平面図 >

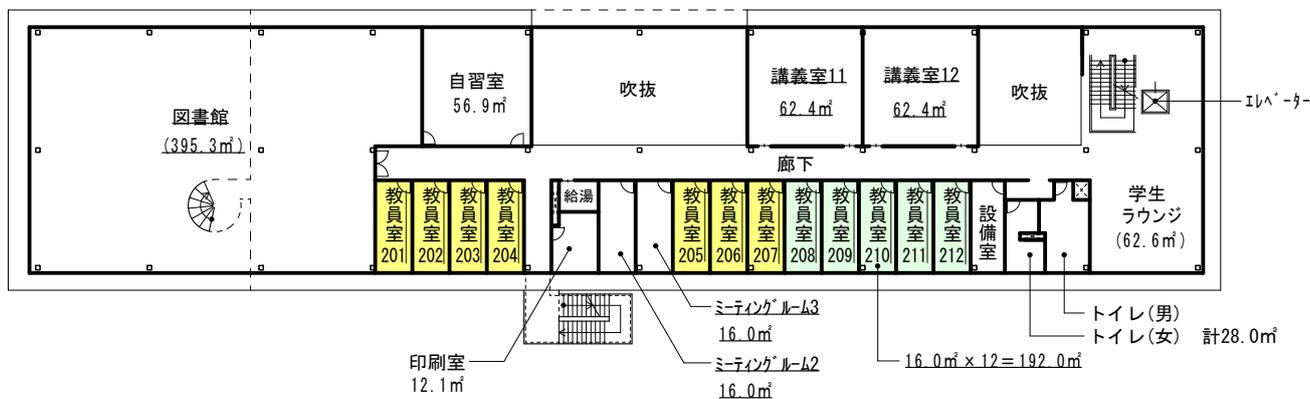
② 2階 (延床面積 : 1,110.6㎡)

ア) 第2年次



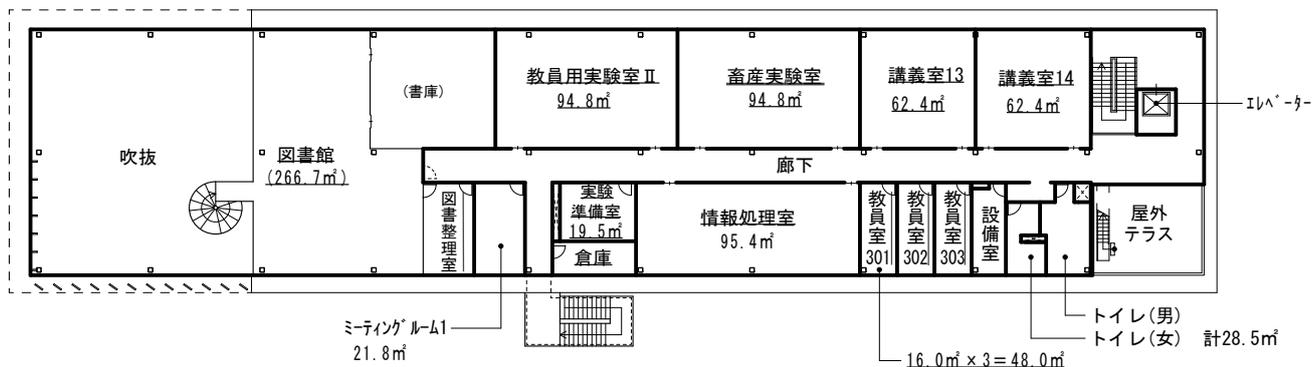
< 2階平面図 (第2年次) >

イ) 第3年次～



< 2階平面図 (第3年次～) >

③ 3階 (延床面積 : 1,015.5㎡)



< 3階平面図 >

4 面積表 (1) A棟

【第1年次】

1階	室名	面積 (㎡)
	総務課	62.9
	学長室	33.0
	応接会議室	35.5
	倉庫	33.0
	教務・学生課	81.7
	共同教員室1	65.4
	更衣室	19.2
	休憩室	13.5
	保健医務室	30.3
	準備室	12.9
	準備室前室	9.2
	分析実験室	112.8
	トイレ (男・女)	21.4
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	264.1
	小計	815.3

2階	室名	面積 (㎡)
	大講義室	150.1
	物入	5.9
	講義室1	65.6
	講義室2	65.4
	講義室3	66.2
	培養室	32.7
	クリーンベンチ室	30.2
	準備室	22.3
	植物実験室	112.8
	講師控室	21.3
	トイレ (男・女)	21.3
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	136.4
	小計	750.6

3階	室名	面積 (㎡)
	研究室301	21.8
	研究室302	22.1
	研究室303	21.5
	研究室304	21.5
	研究室305	22.5
	研究室306	21.6
	研究室307	21.5
	研究室308	22.4
	研究室309	21.5
	研究室310	21.5
	共同教員室2	43.9
	—	—
	臨時図書室	128.3
	—	—
	—	—
	—	—
	書庫	22.3
	閲覧室	112.7
	印刷室1	21.2
	トイレ (女)	21.1
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	161.4
	小計	749.2

4階	室名	面積 (㎡)
	研究室401	21.8
	研究室402	22.1
	研究室403	21.5
	研究室404	21.5
	研究室405	22.4
	研究室406	21.5
	研究室407	21.5
	研究室408	22.4
	研究室409	21.5
	研究室410	21.5
	研究室411	22.4
	研究室412	21.5
	研究室413	21.5
	研究室414	22.4
	研究室415	21.5
	視聴覚室	195.3
	印刷室2	21.1
	トイレ (男)	20.9
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	163.3
	小計	748.0

屋上階	室名	面積 (㎡)
	階段室	31.5

合計 3,094.6 ㎡

【第2年次】

1階	室名	面積 (㎡)
	総務課	62.9
	学長室	33.0
	応接会議室	35.5
	倉庫	33.0
	教務・学生課	147.1
	—	—
	更衣室	19.2
	休憩室	13.5
	保健医務室	30.3
	準備室	12.9
	準備室前室	9.2
	分析実験室	112.8
	トイレ (男・女)	21.4
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	264.1
	小計	815.3

2階	室名	面積 (㎡)
	大講義室	150.1
	物入	5.9
	講義室1	65.6
	講義室2	65.4
	講義室3	66.2
	培養室	32.7
	クリーンベンチ室	30.2
	準備室	22.3
	植物実験室	112.8
	講師控室	21.3
	トイレ (男・女)	21.3
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	136.4
	小計	750.6

3階	室名	面積 (㎡)
	研究室301	21.8
	研究室302	22.1
	研究室303	21.5
	研究室304	21.5
	研究室305	22.5
	研究室306	21.6
	研究室307	21.5
	研究室308	22.4
	研究室309	21.5
	研究室310	21.5
	研究室311	22.4
	研究室312	21.5
	臨時図書室	128.3
	—	—
	—	—
	—	—
	書庫	22.3
	講義室4	112.7
	印刷室1	21.2
	トイレ (女)	21.1
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	161.4
	小計	749.2

4階	室名	面積 (㎡)
	研究室401	21.8
	研究室402	22.1
	研究室403	21.5
	研究室404	21.5
	研究室405	22.4
	研究室406	21.5
	研究室407	21.5
	研究室408	22.4
	研究室409	21.5
	研究室410	21.5
	研究室411	22.4
	研究室412	21.5
	研究室413	21.5
	研究室414	22.4
	研究室415	21.5
	視聴覚室	195.3
	印刷室2	21.1
	トイレ (男)	20.9
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	163.3
	小計	748.0

屋上階	室名	面積 (㎡)
	階段室	31.5

合計 3,094.6 ㎡

新

【第3年次～】

1階	室名	面積 (㎡)
	総務課	62.9
	学長室	33.0
	応接会議室	35.5
	倉庫	33.0
	教務・学生課	147.1
	—	—
	更衣室	19.2
	休憩室	13.5
	保健医務室	30.3
	準備室	12.9
	準備室前室	9.2
	分析実験室	112.8
	トイレ (男・女)	21.4
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	264.1
	小計	815.3

2階	室名	面積 (㎡)
	大講義室	150.1
	物入	5.9
	講義室1	65.6
	講義室2	65.4
	講義室3	66.2
	培養室	32.7
	クリーンベンチ室	30.2
	準備室	22.3
	植物実験室	112.8
	講師控室	21.3
	トイレ (男・女)	21.3
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	136.4
	小計	750.6

3階	室名	面積 (㎡)
	研究室301	21.8
	研究室302	22.1
	研究室303	21.5
	研究室304	21.5
	研究室305	22.5
	研究室306	21.6
	研究室307	21.5
	研究室308	22.4
	研究室309	21.5
	研究室310	21.5
	研究室311	22.4
	研究室312	21.5
	ミーティングルーム4	65.4
	研究室313	21.5
	研究室314	22.4
	研究室315	19.0
	研究室316	22.3
	講義室4	112.7
	印刷室1	21.2
	トイレ (女)	21.1
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	161.4
	小計	749.2

4階	室名	面積 (㎡)
	研究室401	21.8
	研究室402	22.1
	研究室403	21.5
	研究室404	21.5
	研究室405	22.4
	研究室406	21.5
	研究室407	21.5
	研究室408	22.4
	研究室409	21.5
	研究室410	21.5
	研究室411	22.4
	研究室412	21.5
	研究室413	21.5
	研究室414	22.4
	研究室415	21.5
	視聴覚室	195.3
	印刷室2	21.1
	トイレ (男)	20.9
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	163.3
	小計	748.0

屋上階	室名	面積 (㎡)
	階段室	31.5

合計 3,094.6 ㎡

(2) B棟

1階	室名	面積 (㎡)
	教員用実験室Ⅰ	67.1
	加工講義室	63.0
	加工実験室	133.2
	前室	6.2
	発酵室	6.9
	乳製品室	8.1
	マルチパーパス室	5.3
	女子更衣室	11.0
	男子更衣室	14.0
	トイレ (男)	13.0
	トイレ (女)	10.2
	廊下・階段他	81.2
	小計	419.2

2階	室名	面積 (㎡)
	講義室5	39.9
	講義室6	37.8
	講義室7	39.7
	講義室8	20.2
	講義室9	39.7
	講義室10	87.9
	湯沸室	4.4
	カウンセリングルーム	24.8
	トイレ (男)	12.8
	トイレ (女)	12.7
	廊下・階段他	105.9
	小計	425.8

合計 845.0 ㎡

(3) C棟

【第2年次】

1階	室名	面積 (㎡)
	ロビー	58.1
	売店	49.2
	食堂・厨房	489.0
	多目的トイレ	34.3
	トイレ (男・女)	
	廊下・階段他	99.7
	小計	730.3

2階	室名	面積 (㎡)
	講義室11	62.4
	講義室12	62.4
	図書館	395.3
	自習室	56.9
	教員室201	16.0
	教員室202	16.0
	教員室203	16.0
	教員室204	16.0
	教員室205	16.0
	教員室206	16.0
	教員室207	16.0
	教員室208	16.0
	教員室209	16.0
	教員室210	16.0
	教員室211	16.0
	教員室212	16.0
	教員室213	16.0
	教員室214	16.0
	学生カンジ	62.6
	印刷室	12.1
	トイレ (男・女)	28.0
	廊下・階段他	206.9
	小計	1,110.6

3階	室名	面積 (㎡)
	畜産実験室	94.8
	教員用実験室Ⅱ	94.8
	実験準備室	19.5
	講義室13	62.4
	講義室14	62.4
	情報処理室	95.4
	教員室301	16.0
	教員室302	16.0
	教員室303	16.0
	図書館	266.7
	ミーティングルーム1	21.8
	トイレ (男・女)	28.5
	廊下・階段他	221.2
	小計	1,015.5

新

【第3年次～】

1階	室名	面積 (m ²)
	ロビー	58.1
	売店	49.2
	食堂・厨房	489.0
	多目的トイレ	34.3
	トイレ (男・女)	
	廊下・階段他	99.7
	小計	730.3

3階	室名	面積 (m ²)
	畜産実験室	94.8
	教員用実験室Ⅱ	94.8
	実験準備室	19.5
	講義室13	62.4
	講義室14	62.4
	情報処理室	95.4
	教員室301	16.0
	教員室302	16.0
	教員室303	16.0
	図書館	266.7
	ミーティングルーム1	21.8
	トイレ (男・女)	28.5
	廊下・階段他	221.2
	小計	1,015.5

2階	室名	面積 (m ²)
	講義室11	62.4
	講義室12	62.4
	図書館	395.3
	自習室	56.9
	教員室201	16.0
	教員室202	16.0
	教員室203	16.0
	教員室204	16.0
	教員室205	16.0
	教員室206	16.0
	教員室207	16.0
	教員室208	16.0
	教員室209	16.0
	教員室210	16.0
	教員室211	16.0
	教員室212	16.0
	ミーティングルーム2	16.0
	ミーティングルーム3	16.0
	学生ラウンジ	62.6
	印刷室	12.1
	トイレ (男・女)	28.0
	廊下・階段他	206.9
	小計	1,110.6

合計 2,856.4 m²

(4) 校舎面積

棟名	面積 (m ²)
A棟	3,094.6
B棟	845.0
C棟	2,856.4
計	6,796.0

5 施設整備スケジュール

	2018年度			2019年度												2020年度 (第1年次)												2021年度 (第2年次)																							
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12												
A棟 改修工事	基本・実施設計			工事												備品搬入												工事												備品搬入											
				備品搬入												開学												第2年次																							
B棟 建築工事	基本・実施設計			工事												工事												備品搬入																							
				備品搬入																																															
C棟 (工事なし)				備品搬入																								備品搬入																							

(静岡県立農林環境専門職大学同様)

3 建物の平面図

■：静岡県立農林専門職大学短期大学部専用を示す。

■：静岡県立農林専門職大学専用部分を示す。

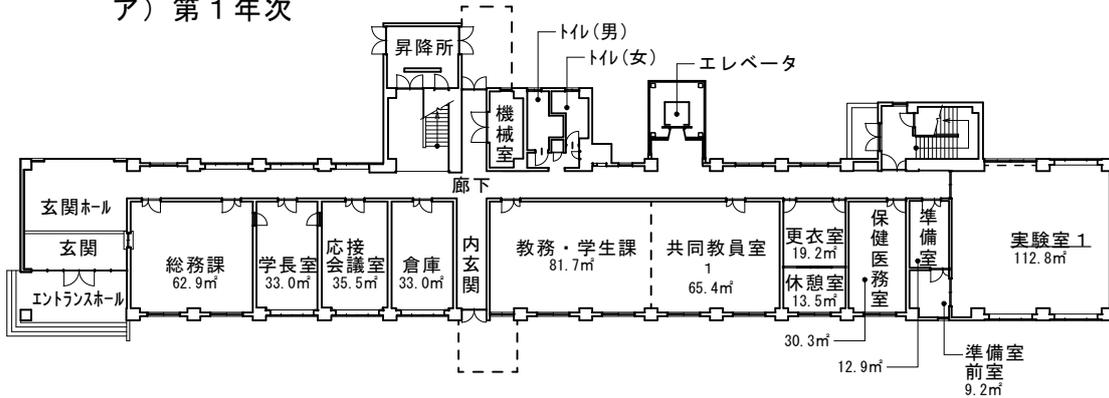
□：静岡県立農林専門職大学との共用部分を示す。

(平成32年度は静岡県立農林大学校と共用)

(1) A棟 (延床面積：3,094.6㎡)

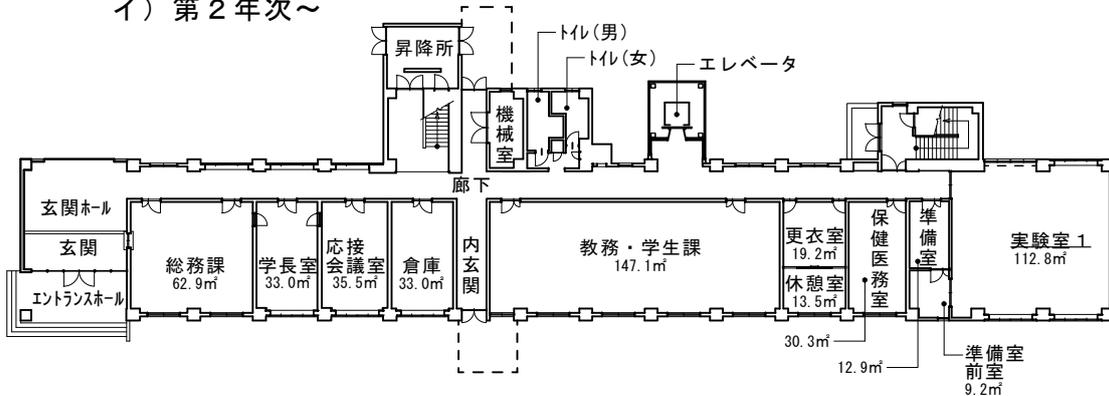
① 1階 (延床面積：815.3㎡)

ア) 第1年次



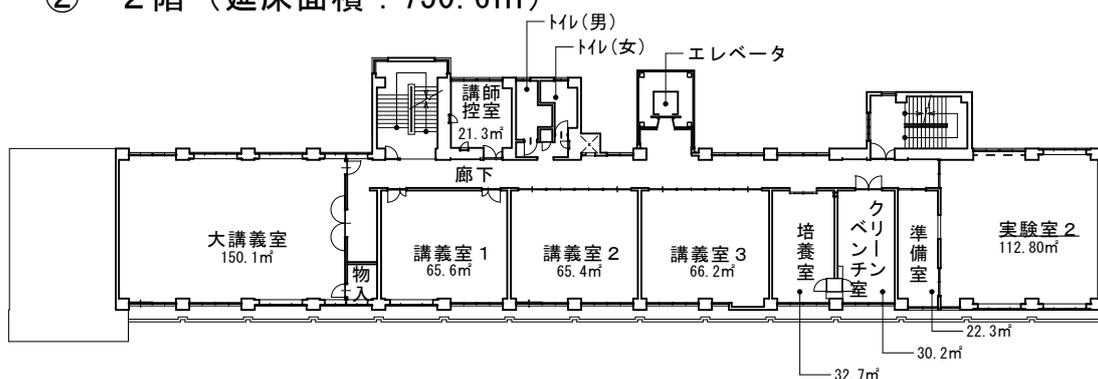
< 1階平面図 (第1年次) >

イ) 第2年次～



< 1階平面図 (第2年次～) >

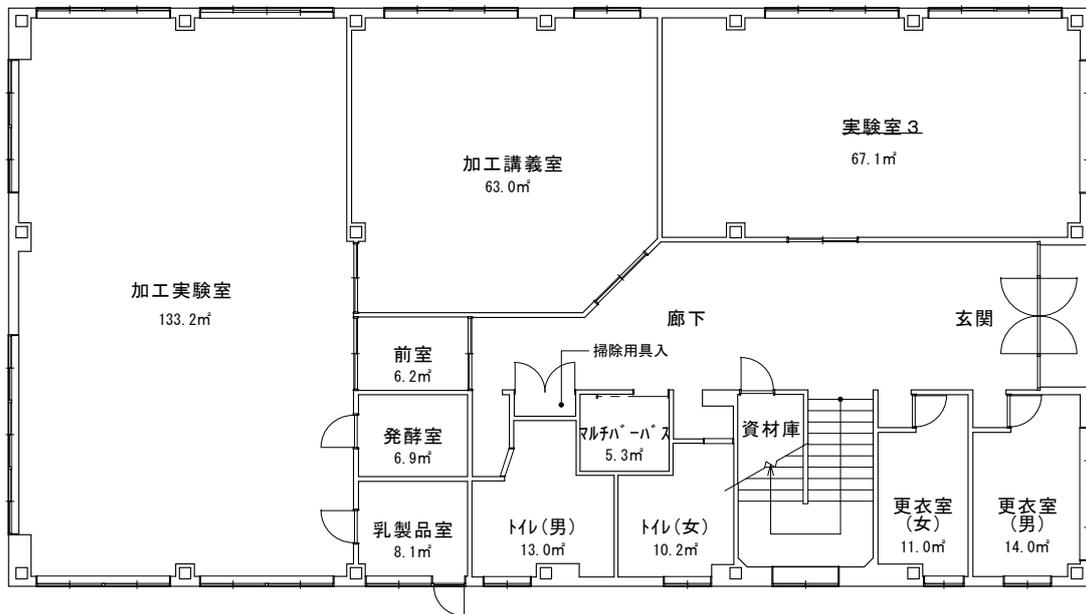
② 2階 (延床面積：750.6㎡)



< 2階平面図 >

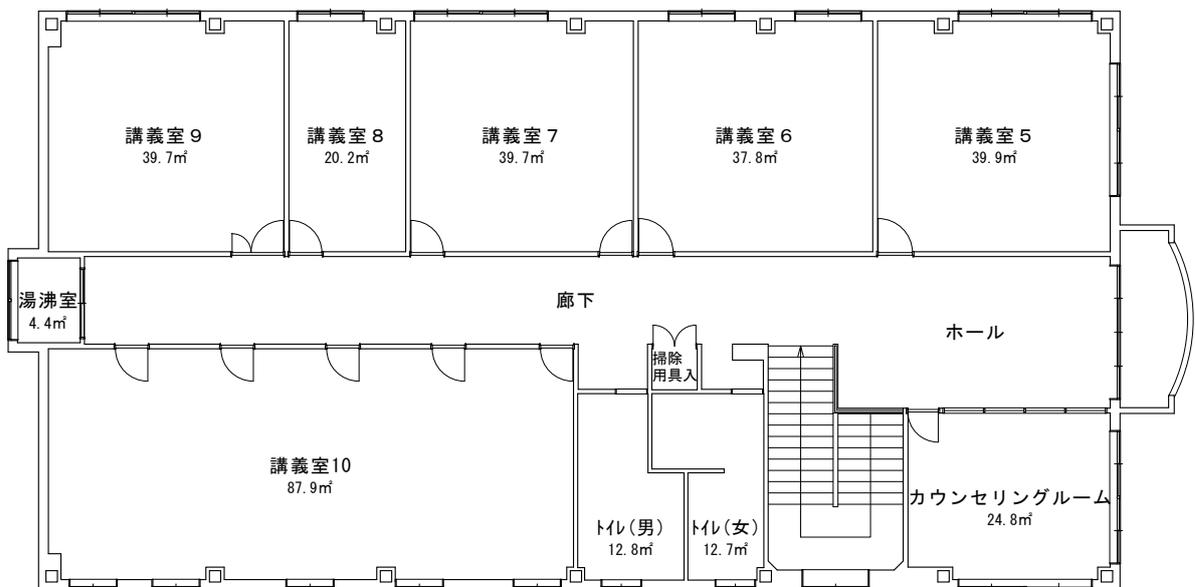
(2) B棟 (延床面積 : 845.0㎡)

① 1階 (延床面積 : 419.2㎡)



< 1階平面図 >

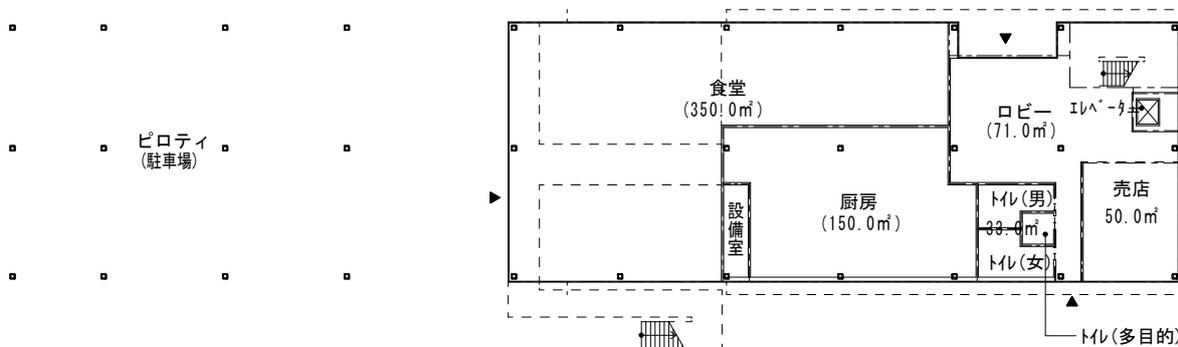
② 2階 (延床面積 : 425.8㎡)



< 2階平面図 >

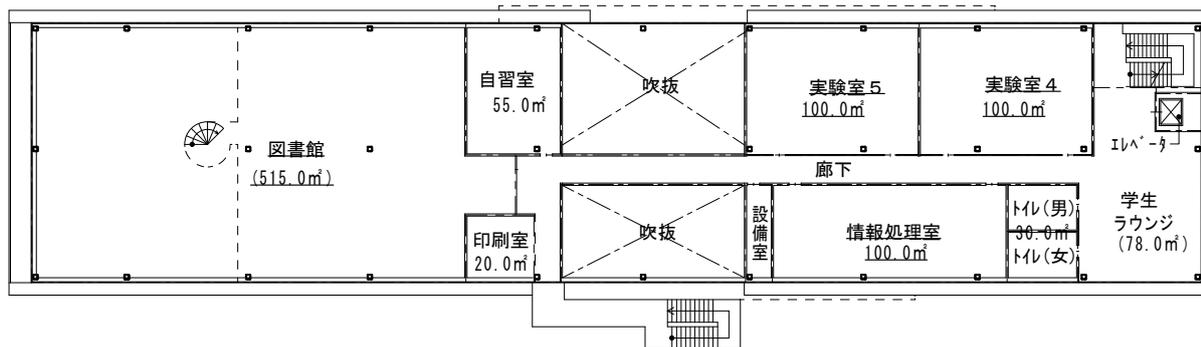
(3) C棟 (延床面積 : 2,856.4㎡)

① 1階 (延床面積 : 735.2㎡)



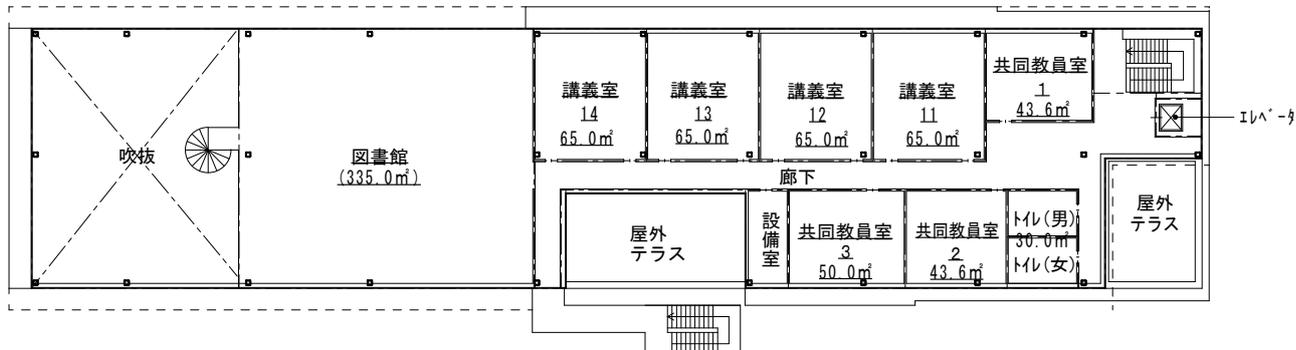
< 1階平面図 >

② 2階 (延床面積 : 1,153.0㎡)



< 2階平面図 >

③ 3階 (延床面積 : 968.2㎡)



< 3階平面図 >

4 面積表
(1) A棟

【第1年次】

1階	室名	面積 (㎡)
	総務課	62.9
	学長室	33.0
	応接会議室	35.5
	倉庫	33.0
	教務・学生課	81.7
	共同教員室1	65.4
	更衣室	19.2
	休憩室	13.5
	保健医務室	30.3
	準備室	12.9
	準備室前室	9.2
	実験室1	112.8
	トイレ (男・女)	21.4
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	264.1
	小計	815.3

2階	室名	面積 (㎡)
	大講義室	150.1
	物入	5.9
	講義室1	65.6
	講義室2	65.4
	講義室3	66.2
	培養室	32.7
	クリーンベンチ室	30.2
	準備室	22.3
	実験室2	112.8
	講師控室	21.3
	トイレ (男・女)	21.3
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	136.4
	小計	750.6

3階	室名	面積 (㎡)
	研究室301	21.8
	研究室302	22.1
	研究室303	21.5
	研究室304	21.5
	研究室305	22.5
	研究室306	21.6
	研究室307	21.5
	研究室308	22.4
	研究室309	21.5
	研究室310	21.5
	共同教員室2	43.9
	—	—
	臨時図書室	128.3
	—	—
	—	—
	—	—
	書庫	22.3
	閲覧室	112.7
	印刷室1	21.2
	トイレ (女)	21.1
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	161.4
	小計	749.2

4階	室名	面積 (㎡)
	研究室401	21.8
	研究室402	22.1
	研究室403	21.5
	研究室404	21.5
	研究室405	22.4
	研究室406	21.5
	研究室407	21.5
	研究室408	22.4
	研究室409	21.5
	研究室410	21.5
	研究室411	22.4
	研究室412	21.5
	研究室413	21.5
	研究室414	22.4
	研究室415	21.5
	視聴覚室	195.3
	印刷室2	21.1
	トイレ (男)	20.9
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	163.3
	小計	748.0

屋上階	室名	面積 (㎡)
	階段室	31.5

合計 3,094.6 ㎡

【第2年次】

1階	室名	面積 (㎡)
	総務課	62.9
	学長室	33.0
	応接会議室	35.5
	倉庫	33.0
	教務・学生課	147.1
	—	—
	更衣室	19.2
	休憩室	13.5
	保健医務室	30.3
	準備室	12.9
	準備室前室	9.2
	実験室1	112.8
	トイレ (男・女)	21.4
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	264.1
	小計	815.3

2階	室名	面積 (㎡)
	大講義室	150.1
	物入	5.9
	講義室1	65.6
	講義室2	65.4
	講義室3	66.2
	培養室	32.7
	クリーンベンチ室	30.2
	準備室	22.3
	実験室2	112.8
	講師控室	21.3
	トイレ (男・女)	21.3
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	136.4
	小計	750.6

3階	室名	面積 (㎡)
	研究室301	21.8
	研究室302	22.1
	研究室303	21.5
	研究室304	21.5
	研究室305	22.5
	研究室306	21.6
	研究室307	21.5
	研究室308	22.4
	研究室309	21.5
	研究室310	21.5
	研究室311	22.4
	研究室312	21.5
	臨時図書室	128.3
	—	—
	—	—
	—	—
	書庫	22.3
	講義室4	112.7
	印刷室1	21.2
	トイレ (女)	21.1
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	161.4
	小計	749.2

4階	室名	面積 (㎡)
	研究室401	21.8
	研究室402	22.1
	研究室403	21.5
	研究室404	21.5
	研究室405	22.4
	研究室406	21.5
	研究室407	21.5
	研究室408	22.4
	研究室409	21.5
	研究室410	21.5
	研究室411	22.4
	研究室412	21.5
	研究室413	21.5
	研究室414	22.4
	研究室415	21.5
	視聴覚室	195.3
	印刷室2	21.1
	トイレ (男)	20.9
	エレベータ	20.4
	廊下・階段他	163.3
	小計	748.0

屋上階	室名	面積 (㎡)
	階段室	31.5

合計 3,094.6 ㎡

【第3年次～】

1階	室名	面積 (㎡)
	総務課	62.9
	学長室	33.0
	応接会議室	35.5
	倉庫	33.0
	教務・学生課	147.1
	—	—
	更衣室	19.2
	休憩室	13.5
	保健医務室	30.3
	準備室	12.9
	準備室前室	9.2
	実験室1	112.8
	トイレ (男・女)	21.4
	エレベーター	20.4
	廊下・階段他	264.1
	小計	815.3

2階	室名	面積 (㎡)
	大講義室	150.1
	物入	5.9
	講義室1	65.6
	講義室2	65.4
	講義室3	66.2
	培養室	32.7
	クリーンベンチ室	30.2
	準備室	22.3
	実験室2	112.8
	講師控室	21.3
	トイレ (男・女)	21.3
	エレベーター	20.4
	廊下・階段他	136.4
	小計	750.6

3階	室名	面積 (㎡)
	研究室301	21.8
	研究室302	22.1
	研究室303	21.5
	研究室304	21.5
	研究室305	22.5
	研究室306	21.6
	研究室307	21.5
	研究室308	22.4
	研究室309	21.5
	研究室310	21.5
	研究室311	22.4
	研究室312	21.5
	ミーティングルーム	65.4
	研究室313	21.5
	研究室314	22.4
	研究室315	19.0
	研究室316	22.3
	講義室4	112.7
	印刷室1	21.2
	トイレ (女)	21.1
	エレベーター	20.4
	廊下・階段他	161.4
	小計	749.2

4階	室名	面積 (㎡)
	研究室401	21.8
	研究室402	22.1
	研究室403	21.5
	研究室404	21.5
	研究室405	22.4
	研究室406	21.5
	研究室407	21.5
	研究室408	22.4
	研究室409	21.5
	研究室410	21.5
	研究室411	22.4
	研究室412	21.5
	研究室413	21.5
	研究室414	22.4
	研究室415	21.5
	視聴覚室	195.3
	印刷室2	21.1
	トイレ (男)	20.9
	エレベーター	20.4
	廊下・階段他	163.3
	小計	748.0

屋上階	室名	面積 (㎡)
	階段室	31.5

合計 3,094.6 ㎡

(2) B棟

1階	室名	面積 (㎡)
	実験室3	67.1
	加工講義室	63.0
	加工実験室	133.2
	前室	6.2
	発酵室	6.9
	乳製品室	8.1
	マルチパーパス室	5.3
	女子更衣室	11.0
	男子更衣室	14.0
	トイレ (男)	13.0
	トイレ (女)	10.2
	廊下・階段他	81.2
小計		419.2

2階	室名	面積 (㎡)
	講義室5	39.9
	講義室6	37.8
	講義室7	39.7
	講義室8	20.2
	講義室9	39.7
	講義室10	87.9
	湯沸室	4.4
	カウンセリングルーム	24.8
	トイレ (男)	12.8
	トイレ (女)	12.7
	廊下・階段他	105.9
小計		425.8

合計 845.0 ㎡

(3) C棟

1階	室名	面積 (㎡)
	ロビー	71.0
	売店	50.0
	食堂・厨房	500.0
	多目的トイレ	33.0
	トイレ (男・女)	
	廊下・階段他	81.2
小計		735.2

2階	室名	面積 (㎡)
	実験室4	100.0
	実験室5	100.0
	情報処理室	100.0
	図書館	515.0
	学生ラウンジ	78.0
	自習室	55.0
	印刷室	20.0
	トイレ (男・女)	30.0
	廊下・階段他	155.0
小計		1,153.0

3階	室名	面積 (㎡)
	講義室11	65.0
	講義室12	65.0
	講義室13	65.0
	講義室14	65.0
	共同教員室1	50.0
	共同教員室2	43.6
	共同教員室3	43.6
	図書館	335.0
	トイレ (男・女)	30.0
	廊下・階段他	206.0
小計		968.2

合計 2,856.4 ㎡

(4) 校舎面積

棟名	面積 (㎡)
A棟	3,094.6
B棟	845.0
C棟	2,856.4
計	6,796.0

